

参考資料

(道路関係)

路線名	箇所名	ページ
<鳥取県>		
一般国道9号	鳥取西道路(Ⅱ期)	1
一般国道9号	鳥取西道路(Ⅲ期)	2
一般国道9号	駟馳山バイパス	3
一般国道183号	鍵掛峠道路	4
<島根県>		
一般国道9号	出雲・湖陵道路	5
一般国道9号	多伎・朝山道路	6
一般国道9号	朝山・大田道路	7
一般国道9号	静間・仁摩道路	8
一般国道9号	出雲バイパス	9
一般国道9号	直地防災	10
一般国道54号	三刀屋拡幅	11
<岡山県・岡山市>		
一般国道2号	倉敷立体	12
一般国道2号	玉島・笠岡道路	13
一般国道2号	玉島・笠岡道路(Ⅱ期)	13
一般国道2号	笠岡バイパス	14
一般国道53号	岡山北バイパス	15
一般国道53号	津山南道路	16
一般国道53号	大田防災	17
一般国道180号	岡山環状南道路	18
一般国道180号	岡山西バイパス	19
一般国道180号	総社・一宮バイパス	20
一般国道373号	志戸坂峠道路	21

<広島県・広島市>

一般国道2号	福山道路	22
一般国道2号	松永道路	23
一般国道2号	木原道路	24
一般国道2号	安芸バイパス	25
一般国道2号	東広島バイパス	26
一般国道2号	岩国・大竹道路	27
一般国道2号	栄橋	28
一般国道54号	可部バイパス	29
一般国道183号	鍵掛峠道路	4
一般国道185号	休山改良	30
一般国道185号	安芸津バイパス	31

<山口県>

一般国道2号	岩国・大竹道路	27
一般国道2号	栄橋	28
一般国道2号	周南立体	32
一般国道2号	戸田拡幅	33
一般国道2号	小月バイパス	34
一般国道188号	新寿橋	35
一般国道188号	柳井バイパス	36
一般国道191号	下関北バイパス	37
一般国道491号	長門・俵山道路	38

とっとりにし

事業推進

とつとり

とつとり

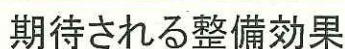
トフナ

一般国道9号鳥取西道路Ⅱ期は、鳥取市内の交通混雑緩和、交通安全の確保を目的とした、鳥取市松原から同市気高町下坂本に至るL=5.9kmの道路です。平成23年度は、用地買収及び改良、橋梁工事を推進します。

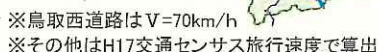
位置図



吉岡温泉IC(仮称)付近



・鳥取西道路を含む山陰道全線整備により、県内都市間の移動時間は短縮され、地域間の連携強化が期待されます。



鳥取県の三次医療施設は、県立中央病院（鳥取市）と鳥取大学付属病院（米子市）の2カ所であり、鳥取西道路の整備により、県中部の60分カバー圏が大幅に拡大し、救命率の向上が期待される。

現在（鳥取西道路整備前）の
60分カバー圏域図
人口カバー率90%

鳥取西道路が全線供用した場合
の60分カバー圏域図
人口カバー率99%



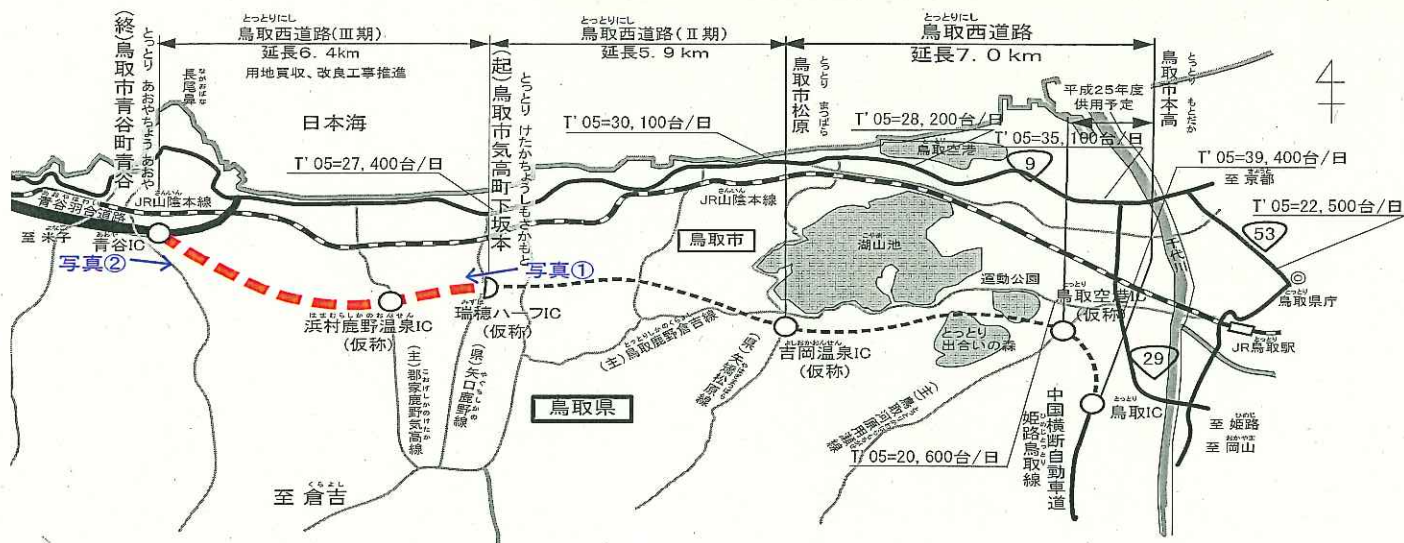
※現時点で既に事業中の他路線がすべて供用することを前提に算出
※人口カバー率は平成17年国勢調査結果

とっとりにし 一般国道9号 鳥取西道路Ⅲ期

事業推進

一般国道9号鳥取西道路Ⅲ期は、鳥取市内の交通混雑緩和、交通安全の確保を目的とした、鳥取市気高町下坂本から同市青谷町青谷に至るL=6.4kmの道路です。平成23年度は、用地買収及び改良工事を推進します。

位置図



期待される整備効果

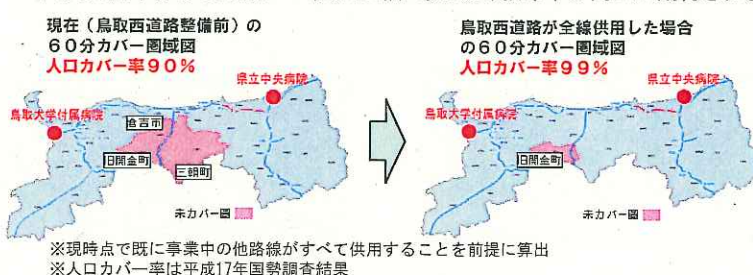
●所要時間の短縮

・鳥取西道路を含む山陰道全線整備により、県内都市間の移動時間は短縮され、地域間の連携強化が期待されます。



●第3次医療施設までのアクセス向上

・鳥取県の三次医療施設は、県立中央病院(鳥取市)と鳥取大学付属病院(米子市)の2カ所であり、鳥取西道路の整備により、県中部の60分カバー圏が大幅に拡大し、救命率の向上が期待される。



しちやま

事業推進

しちやま

いわみ いわみちょう

とつとり ふくべちょう

いわみちようほんじょう とつとり ふくべちようゆやま

いわみちようほんじょう

位置図



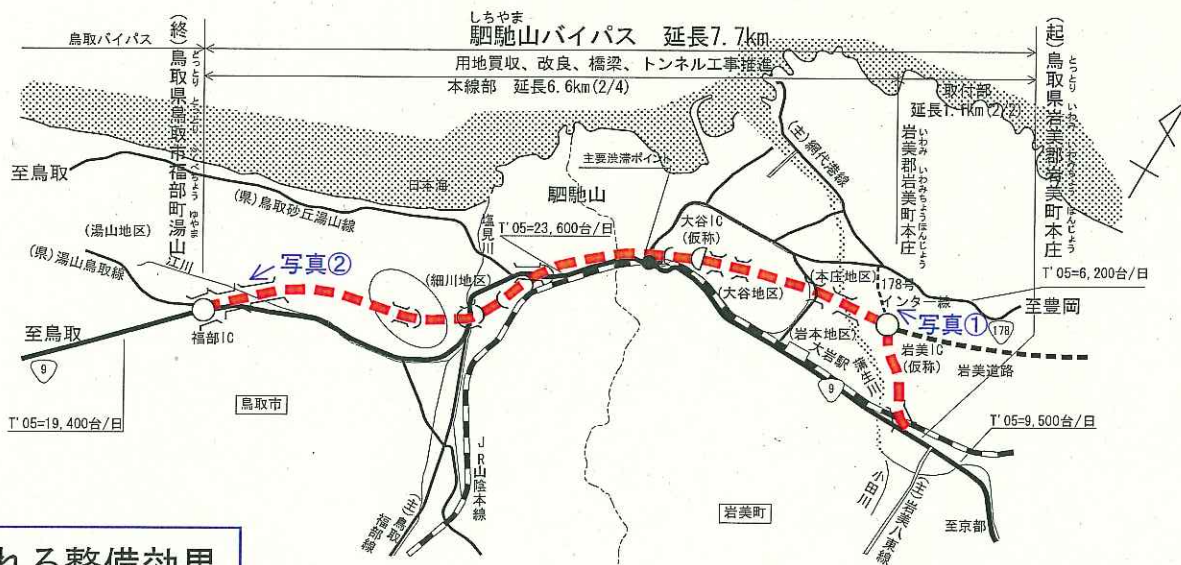
進捗状況写真



岩美IC付近から西方面を望む



湯山地区から西方面を望む H23.2撮影



期待される整備効果

安全で信頼性の高い道路ネットワークの確保

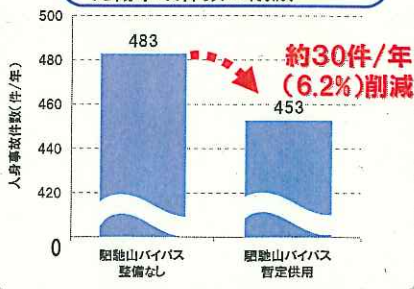
交通事故狀況写真

●急勾配で急カーブが連続し、事故が多発する駈馳山峠付近



※各時点の交通量配分結果をもとに、交通量を用いて算出
※人身事故件数算定式：交通事故減少便益の原単位の算出方法（H20年11月 国土交通省）
※死傷事故件数算出対象範囲は、費用便益分析対象範囲と同じ

騨馳山バイパス整備による 死傷事故件数の削減



所要時間の短縮

駒馳山バイパスの整備により、鳥取空港から浦富海岸間の所要時間が4分短縮されます。

経路	所要時間	短縮時間
〔現状〕国道9号経由	39分	
〔供用後〕駒馳山バイパス経由	35分	4分短縮

※駒馳山バイパスが全線整備された場合。
 駒馳山バイパスはV=70km/h、
 その他はH17交通センサス旅行速度で算出

一般国道183号 鍵掛峠道路

かっかけとうげ

一般国道183号鍵掛峠道路は、広島県と鳥取県の県境部における現道隘路区間の解消及び冬期交通の安全確保を目的とした、広島県庄原市西城町高尾から鳥取県日野郡日南町新屋に至る延長12.0kmの道路です。

平成23年度は、調査・設計を推進します。

事業推進



写真① 西城町小鳥原 曲線半径R=11.5m
(対向車線にはみ出して走行する大型車)

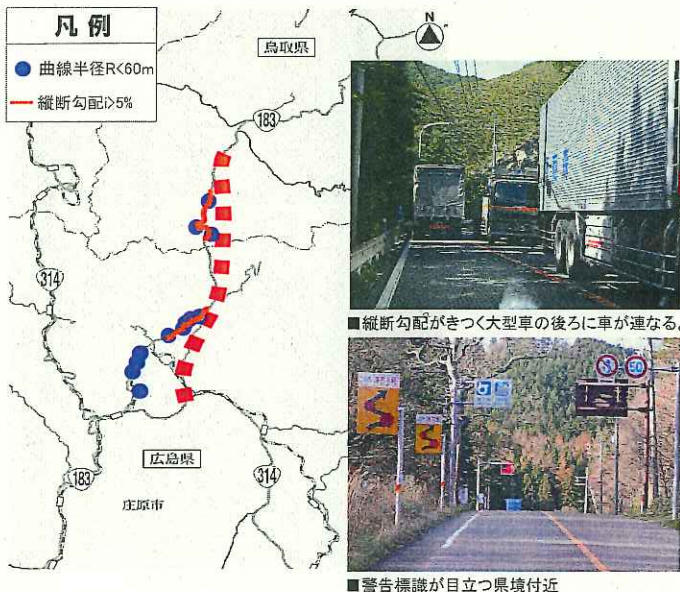


写真② 西城町小鳥原 冬季状況
(積雪時、堆雪幅が確保されておらず 離合が困難)

期待される整備効果

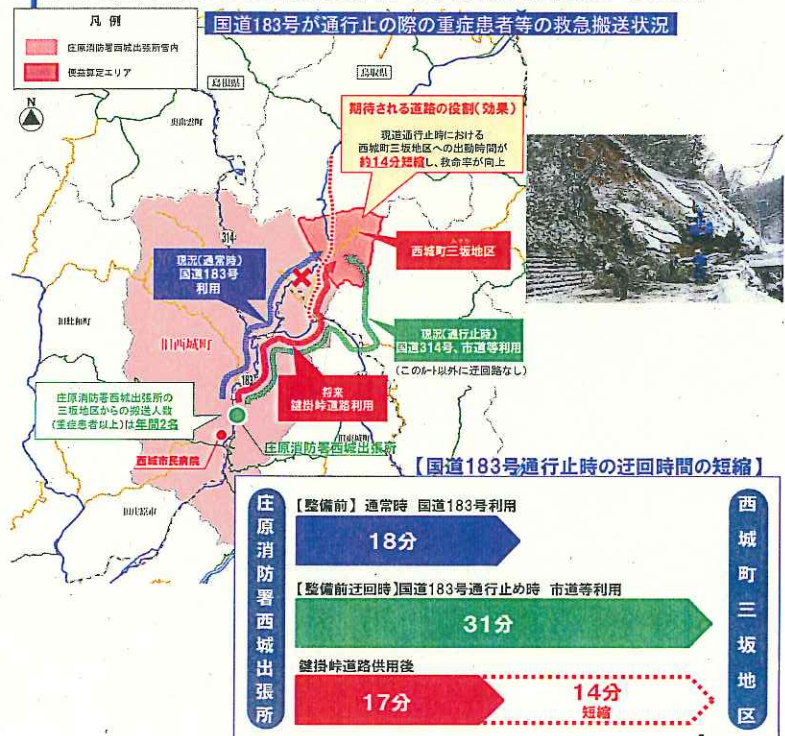
●線形不良区間の回避

国道183号鍵掛峠道路付近では、非常に急なカーブや勾配のきつい区間(最急勾配12.5%)が連続し、安全な走行に支障をきたしており、大型車の通行が困難な箇所となっている。



●災害時等の代替機能確保

国道183号鍵掛峠付近は、急峻な地形で法面崩壊などの災害復旧や交通事故による通行規制時には大幅な迂回を強いられる。



いずも　こりよう

事業推進

一般国道9号 出雲・湖陵道路

一般国道9号の現道部では、通過車両と生活車両が混在し、県中西部方面から出雲市中心部への流入付近で交通混雑が発生しており、交通事故も多発しています。

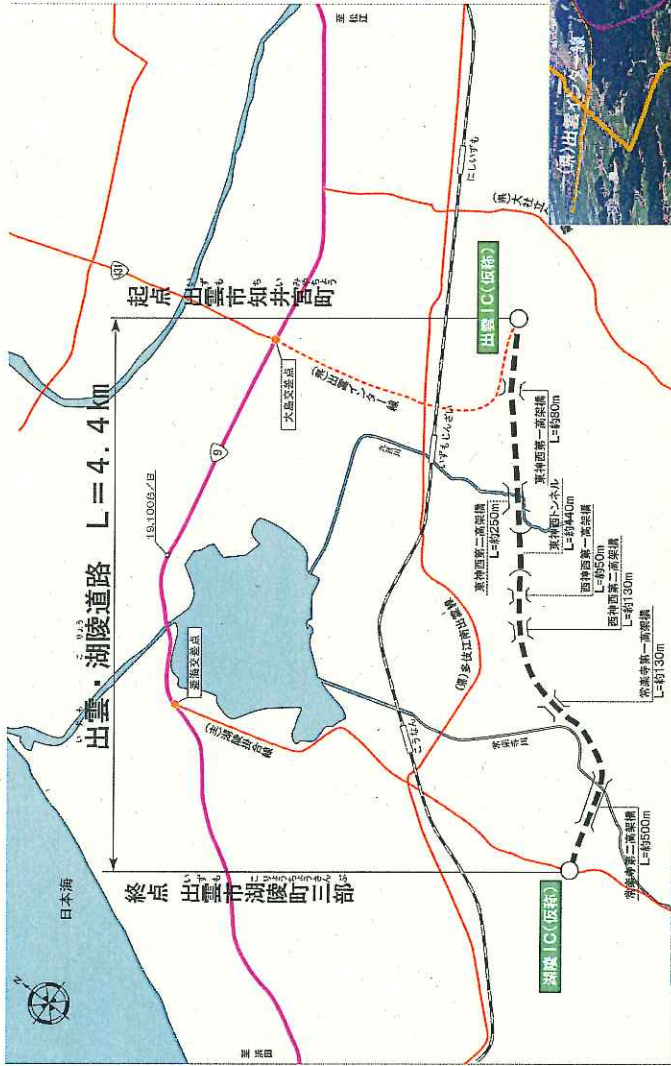
交通事故・渋滞の発生により地域の経済活動に多大な支障をきたし、早期の整備が求められています。

出雲・湖陵道路は、この様な課題を解決するために計画された道路で、島根県出雲市知井宮町から同市湖陵町三部に至る延長4.4 kmの自動車専用道路で、平成20年度に事業着手しました。

平成23年度は、用地買収を推進します。

事業概要

事業箇所図



状況写真



大型車同士の衝突事故
(H16. 6発生)



出雲市流入部での渋滞



至松江
至出雲市
至湖陵町三部

湖陵IC(仮称)

至松江

至出雲市

至湖陵町三部

至松江

至出雲市

至湖陵町三部

至松江

至出雲市

至湖陵町三部

至松江

至出雲市

至湖陵町三部

至松江

至出雲市

至湖陵町三部

至松江

至出雲市

至湖陵町三部

至松江

至出雲市

至湖陵町三部

至松江

至出雲市

至湖陵町三部

至松江

至出雲市

至湖陵町三部

至松江

至出雲市

至湖陵町三部

至松江

至出雲市

至湖陵町三部

至松江

至出雲市

至湖陵町三部

至松江

至出雲市

至湖陵町三部

至松江

至出雲市

至湖陵町三部

至松江

至出雲市

至湖陵町三部

至松江

至出雲市

至湖陵町三部

至松江

至出雲市

至湖陵町三部

至松江

至出雲市

至湖陵町三部

至松江

至出雲市

至湖陵町三部

至松江

至出雲市

至湖陵町三部

至松江

至出雲市

至湖陵町三部

至松江

至出雲市

至湖陵町三部

至松江

至出雲市

至湖陵町三部

至松江

至出雲市

至湖陵町三部

至松江

至出雲市

至湖陵町三部

至松江

至出雲市

至湖陵町三部

至松江

至出雲市

至湖陵町三部

至松江

至出雲市

至湖陵町三部

至松江

至出雲市

至湖陵町三部

至松江

至出雲市

至湖陵町三部

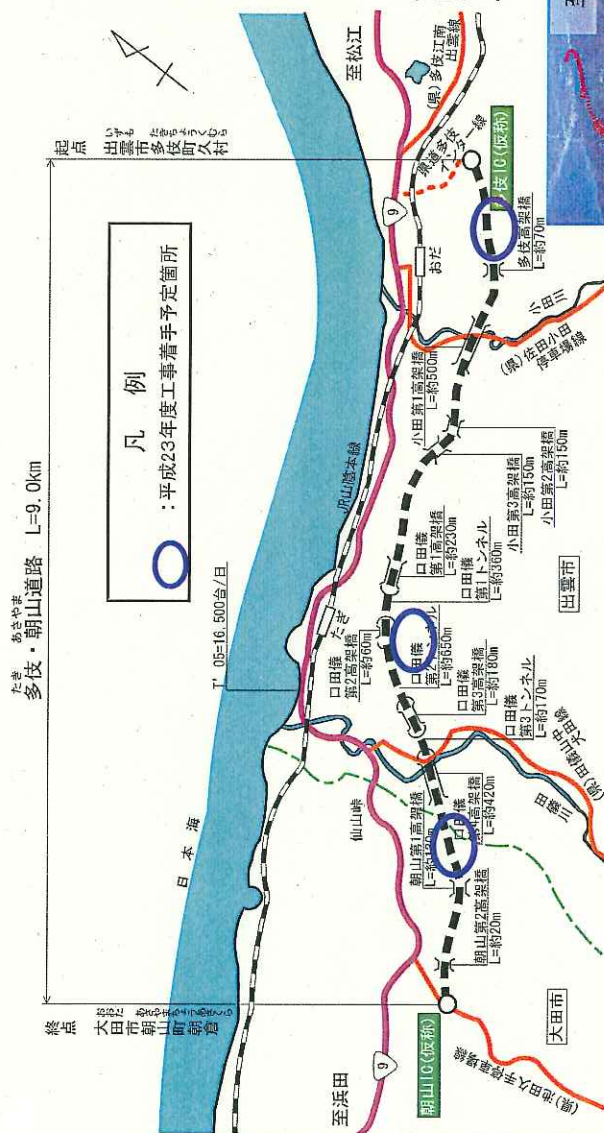
$\frac{11}{6}$
 $\frac{7}{2}$
 $\frac{10}{3}$
 $\frac{13}{4}$
 $\frac{16}{5}$
 $\frac{19}{6}$

般国道9号 多伎・朝山道路

概要事業

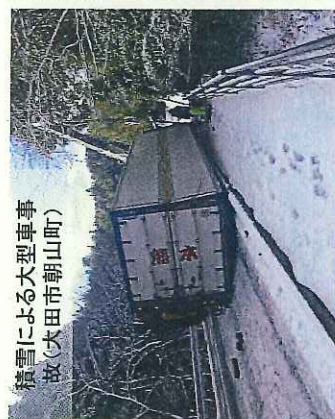
平成23年度は、文化財調査、用地買収、改良工事、橋梁工事を推進します。

圖所箇業專



平成18年7月豪雨災害により
国道9号に35時間の全面通行
止め（片側交互通行79日間）

真况写真



事業推進

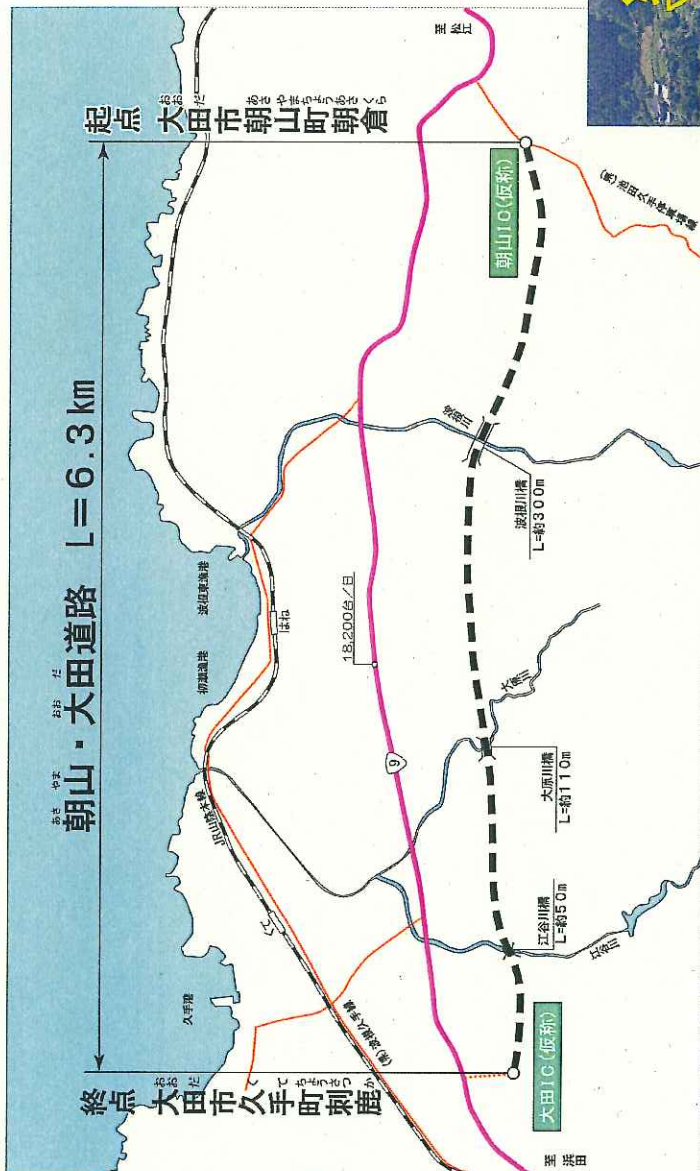
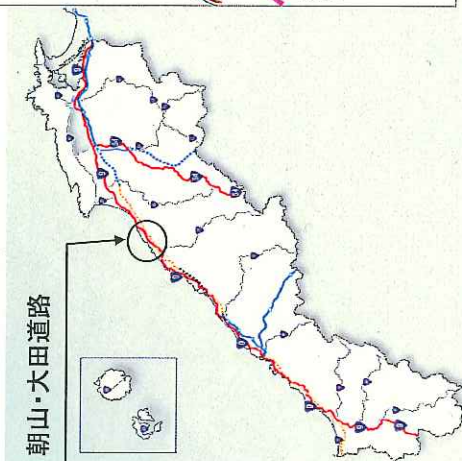
朝山・大田道路

一般国道9号の出雲市と大田市の「仙山峠」付近は、急カーブが連続し交通事故の多発する島根県内でも有数の交通の難所となっています。また、平成18年7月豪雨災害では、国道9号が全面通行止めとなる等、災害が頻発する区間ともなっています。

朝山・大田道路は、このような課題を解決するため計画された道路で、島根県大田市朝山町から大田市久手町に至る延長6.3kmの自動車専用道路です。平成19年度に事業化し、平成22年度には調査設計を推進し用地買収に着手しました。平成23年度は、文化財調査、用地買収、改良工事を推進します。

事業概要

事業箇所図



平成18年7月豪雨災害により国道9号に35時間の全面通行止め
(片側交互通行79日間)



積雪による大型車事故
(大田市朝山町)



線形不良箇所

(大田市朝山町 R=100m) (大田市朝山町 R=120m、i=5.0%)



線形不良箇所

状況写真

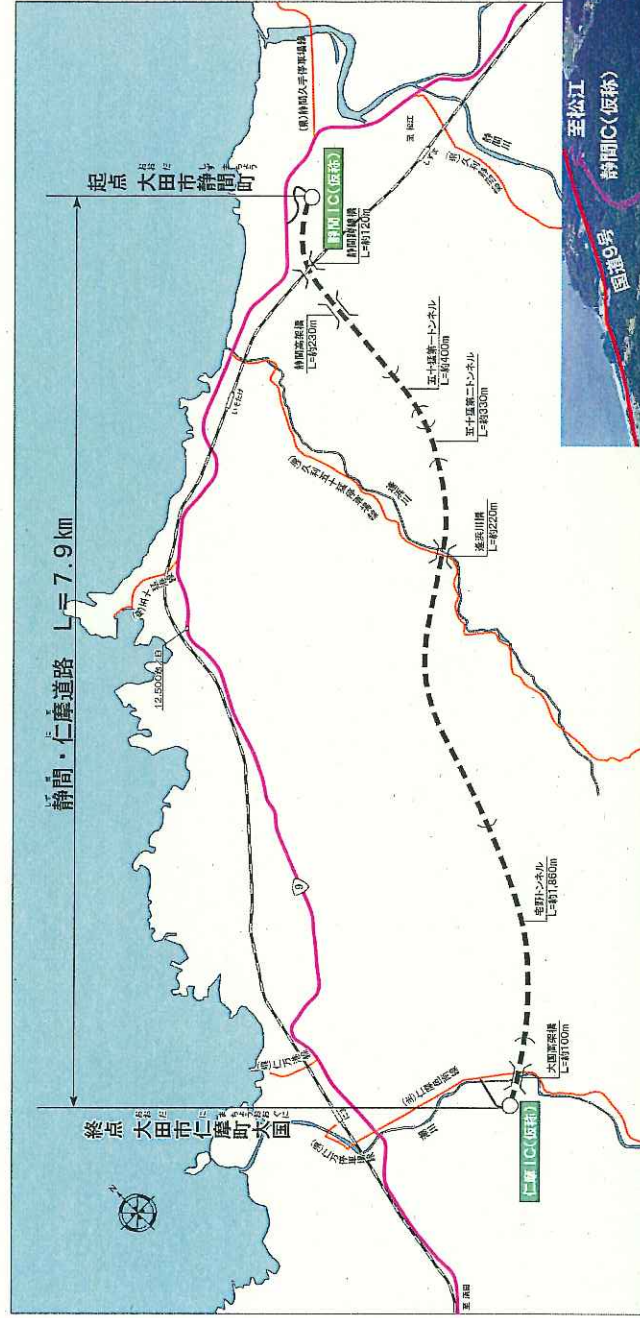
一般国道9号 静間・仁摩道路

事業推進

一般国道9号の現道部は、急カーブや急勾配が連続する区間が多く、死亡事故につながる重大事故が発生しやすい状況にあります。また、国際規格コンテナ通行支障トンネルや、事故や災害時には通行止めが発生し、大幅な迂回が必要となるなど、早期の整備が求められています。

静間・仁摩道路は、この様な課題を解決するために計画された道路で、島根県大田市静間町から同市仁摩町大國に至る延長7.9kmの自動車専用道路で、平成20年度に事業着手しました。
平成23年度は、用地買収を推進します。

事業箇所図



状況写真



大型車の事故で約2時間全面通行止め
(H16. 6発生)



建築限界が不足するトンネル
(H19. 5撮影)



事業概要

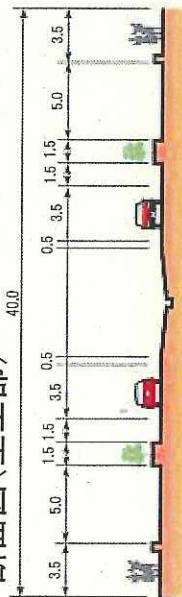
出雲バイパスは、一般国道9号の出雲市内の交通渋滞緩和及び交通安全の確保を目的として計画された簸川郡斐川町富村から出雲市芦渡町に至る延長8.7kmの道路です。昭和49年度に事業着手し、平成19年12月、全線について、暫定2車線で供用しました。現在、起点側の改良工事を行っています。

事業箇所図

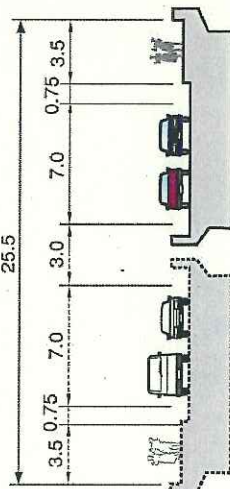


状況写真

断面図(土工部)



断面図(斐伊川渡河部)

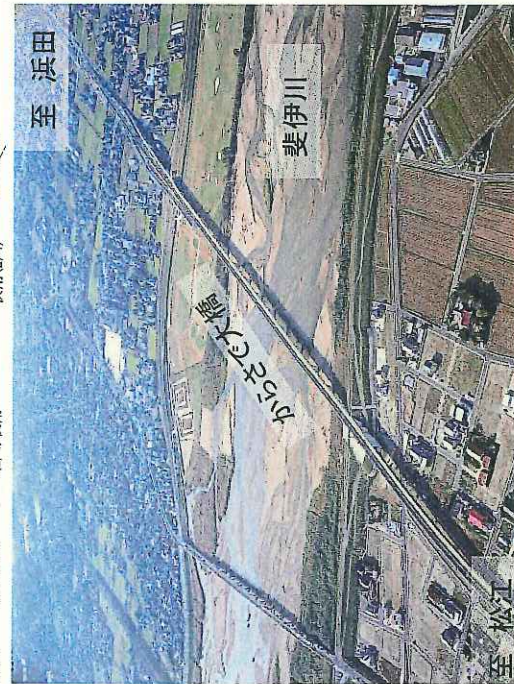
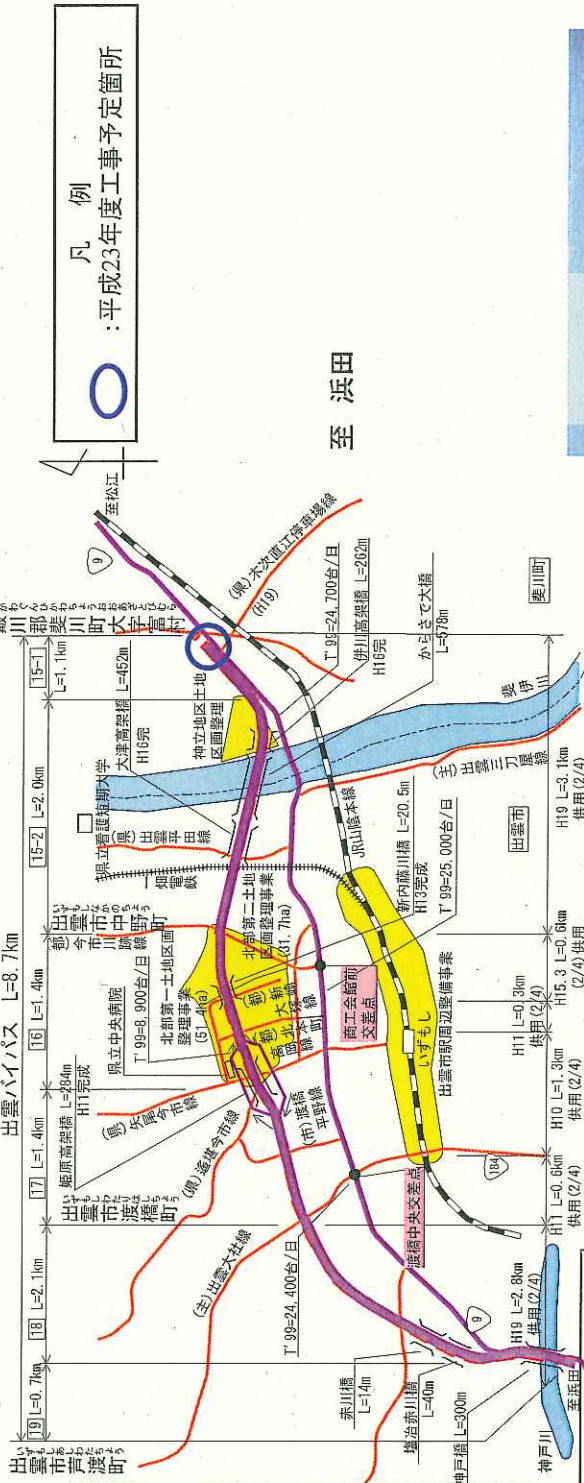


※実線は暫定2車供用時

いずも 出雲バイパス 一般国道9号

完成予定

平成23年度は、斐川町富村で改良工事を推進し起点部の4車線供用を目指します。



斐伊川上空より西を望む

出雲市渡橋町上空より西を望む

一般国道9号 直地防災事業

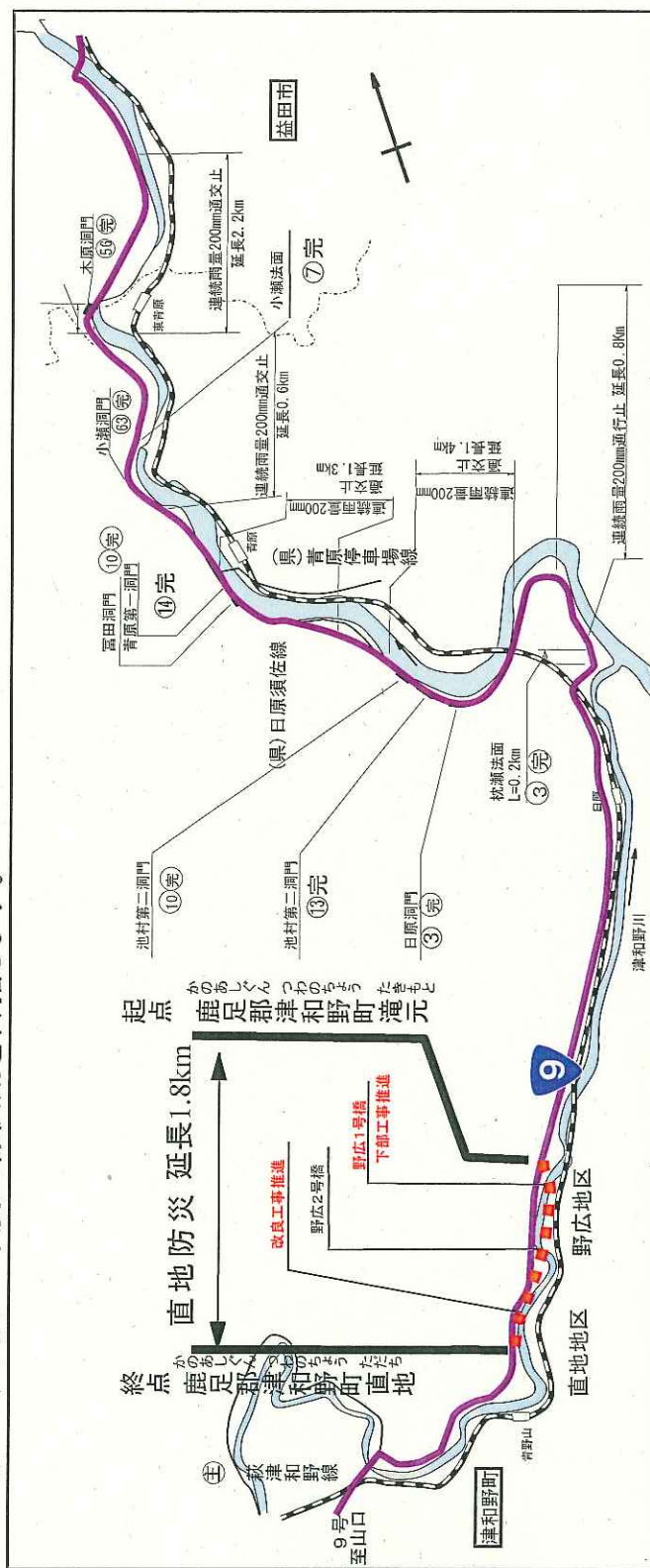
事業概要

一般国道9号の鹿足郡津和野町滝元～直地においては、災害時の代替路線がない唯一の幹線道路で、地形的にも斜面が急峻で落石・崩壊に対する安定性が十分でないため、防災対策が必要です。

直地防災事業は、道路の防災と安全のさらなる向上を目的とし、当該箇所を迂回するルートを整備するため、平成11年度から事業着手したものです。平成15年度から直地地区の法面工事に着手しています。

平成23年度は、野広地区の改良、橋梁工事及び直地地区の舗装工事を推進し、平成23年度に直地地区の0.7kmをまた、平成24年度全線供用を目指します。

事業箇所図



一般国道9号津和野町直地付近の急峻な地形



直地地区



野広地区



山口方面を望む

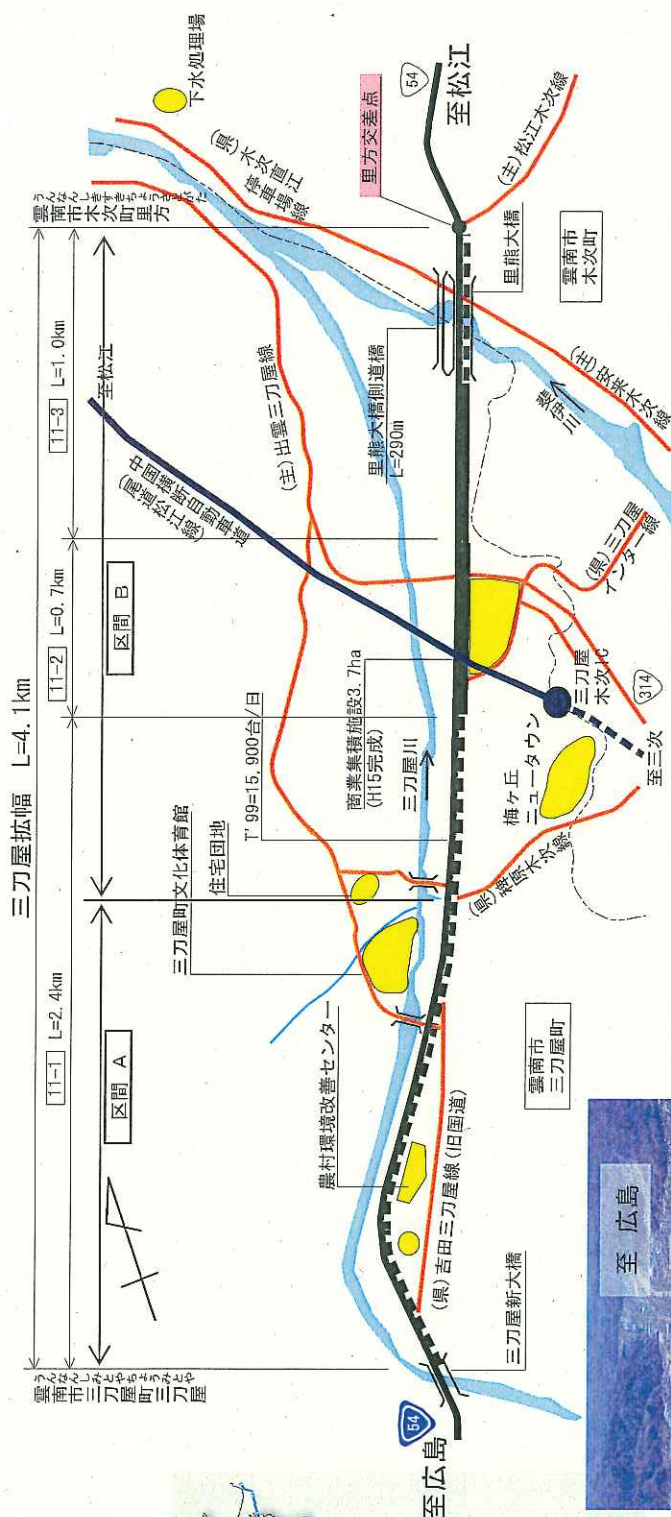
72

要 概 業 事

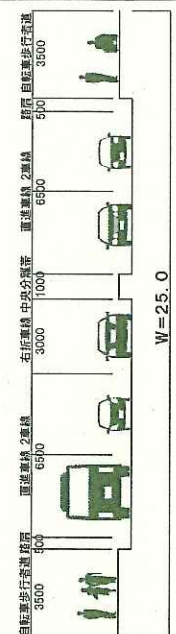
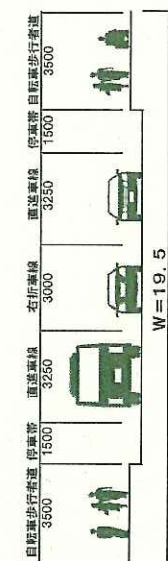
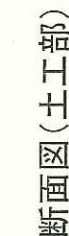
三刀屋町地内は中国横断自動車道松江線の三刀屋木次I.Cの開通や市街地の開発などにより車両、歩行者の安全確保等の課題が生じています。三刀屋拡幅は、このような課題に対し、交通安全性の向上を図り、周辺の土地利用を促進するなど、高速道路と連携した整備を進めています。

平成23年度は、改良工事を推進します。

圖書所



写真状況



上空より拡幅区間を望む(三刀屋町地内)

一般国道2号 倉敷立体



平成23年度
事業概要

調査・設計を推進します。

■事業概要

倉敷立体事業は、一般国道2号の倉敷市新田から倉敷市船穂町船穂に至る延長7.7kmの区間において4車線化整備を行う事業です。

この地区では、古城池高架橋の東詰や高梁川大橋付近で慢性的な交通渋滞が発生しています。4車線化により交通容量を拡大させることで、倉敷市街地の渋滞の緩和や、それに伴う沿道環境の改善を図ることなどを目的としています。

■状況写真

■事業箇所図



終点側より西方面(倉敷方面)を望む

渋滞発生状況



高梁川大橋付近上り方向

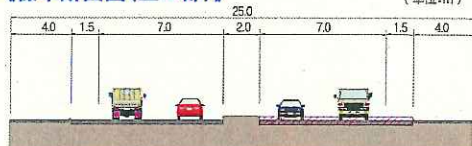


高梁川大橋付近下り方向



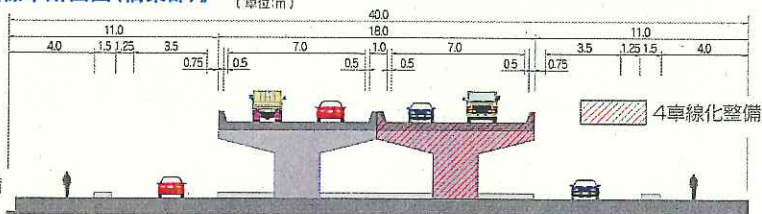
古城池高架橋東詰付近

【標準断面図(土工部)】



4車線化整備

【標準断面図(橋梁部)】



4車線化整備

期待される整備効果

1. 交通渋滞の緩和

倉敷立体の整備により、倉敷市中心部の交通渋滞が緩和され、第3次医療施設である川崎医科大学付属病院への搬送時間の短縮が期待されます。

2. 交通事故の減少

倉敷市中島～片島間におけるH22年度部分供用により、同区間において年間平均約60件発生していた死傷事故が約3割減少するものと推測されます。

(※H16～H19交通事故統計DB及びH16年度国土技術政策総合研究所資料より算定)



※整備前：H17道路交通センサス遅延時旅行速度を用いて算出
整備後：倉敷立体の速度を60km/hとし、現道は平常時の所要
時間を用いて算出

一般国道2号 玉島・笠岡道路

たましまかさおか



平成23年度 事業概要

- I 期: 用地買収、改良・橋梁及び舗装工事を推進します。**
II 期: 文化財調査、調査・設計の実施及び橋梁工事に着手します。

■事業概要

玉島・笠岡道路は、地域高規格道路「倉敷福山道路」の一部を構成する倉敷市玉島阿賀崎から笠岡市西大島新田に至る延長 13.9km の道路です。

岡山県西部地域の通過交通を受け持つことで、慢性的に発生する交通渋滞の緩和、交通安全の確保、それに伴う同地域の活力向上を図ることを目的としています。倉敷市玉島阿賀崎から浅口市金光町佐方に至る延長 4.5km について、平成 26 年度供用に向けて、引き続き事業を進めます。

■状況写真



起点より西方面(笠岡方面)を望む

渋滞発生状況

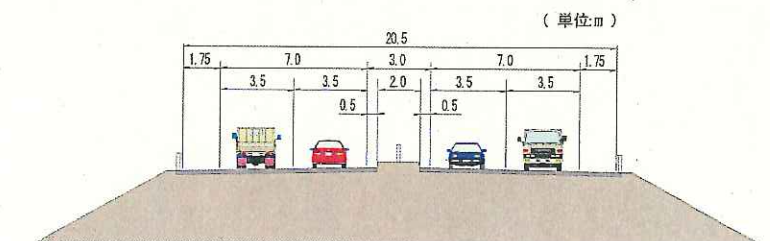


国道2号里庄駅前交差点付近

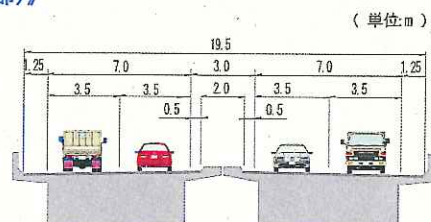
■事業箇所図



《標準断面図(土工部)》



《標準断面図(橋梁部)》



期待される整備効果

交通渋滞の緩和

玉島・笠岡道路を含む倉敷福山道路の整備により、現道からバイパスへ交通が転換し、国道2号の交通渋滞が緩和されます。

一般国道2号 笠岡バイパス

かさおか



平成23年度
事業概要

調査・設計を推進します。

■事業概要

笠岡バイパスは、地域高規格道路倉敷福山道路の一部を構成する笠岡市西大島新田から茂平に至る延長7.6kmのバイパスです。

笠岡市周辺における一般国道2号の通過交通を受け持つことにより、笠岡市街地に集中する慢性的な交通渋滞の緩和と、それに伴う同地域の活力向上を図ることを目的としています。

笠岡バイパスは、平成10年度に地域高規格道路の整備区間指定を受け、平成20年3月の側道部を供用（笠岡市西大島新田～笠岡市入江 $L=0.4\text{km}$ 、笠岡市カブト南町～笠岡市港町 $L=2.9\text{km}$ ）し引き続き事業を進めます。

■状況写真



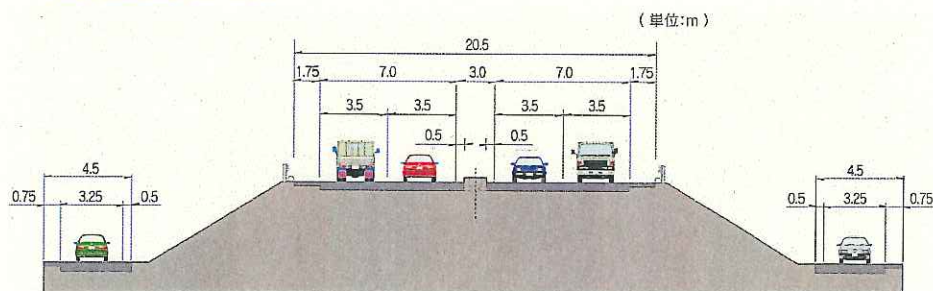
起点側より西方面（福山方面）を望む

■事業箇所図



国道2号用之江交差点付近

《標準断面図(土工部)》



期待される整備効果

交通渋滞の緩和

笠岡バイパスを含む倉敷福山道路の整備により、現道からバイパスへ交通が転換し、国道2号の交通渋滞が緩和されます。

一般国道53号 岡山北バイパス

おかやまきた

平成23年度
事業概要

改良・橋梁及び舗装工事を推進します。



■事業概要

岡山北バイパスは、岡山市北区津島から北区御津中山に至る延長約 10.5km のバイパスです。

岡山市北部の一般国道 53 号に存在する交通隘路区間の解消により、岡山市内及び周辺部の交通混雑の緩和、交通安全の確保及び岡山空港へのアクセス向上を目的としています。

岡山北バイパスは、平成 13 年度までに暫定供用（岡山市北区津島から北区吉宗 L=8.7km）しています。今後、津高大橋（岡山市北区津高）の 4 車線化について、平成 24 年度暫定供用に向けて、継続して事業を進めます。

■事業箇所図

■状況写真

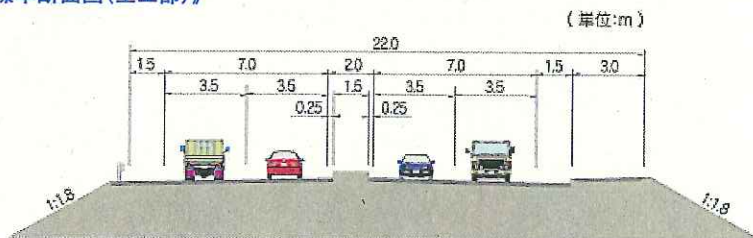


津島京町交差点より北部方面（津山方面）を望む



津高大橋付近の交通状況（朝ピーク時）

《標準断面図(土工部)》



期待される整備効果

1. 医療連携の強化

岡山市北部(旧御津町)から岡山市中心部の第二次救急医療施設へのアクセスが向上し、医療連携の強化が図られます。

2. 隘路区間の解消

岡山北バイパスの整備により、交通隘路区間が解消され、安全で円滑な通行が可能になります。



一般国道53号 津山南道路

つやまみなみ

平成23年度
事業概要

用地買収を推進します。



■事業概要

津山南道路は、地域高規格道路「空港津山道路」の一部を構成する久米郡美咲町打穴中から津山市平福に至る延長 5.4km の道路です。

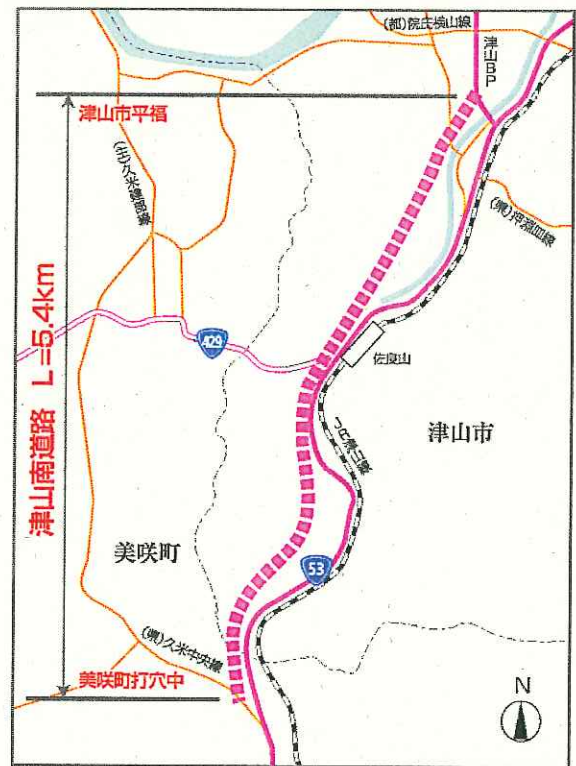
津山市で発生する慢性的な交通渋滞を緩和するとともに、津山周辺圏と、岡山空港及び県南部地域との連携強化を促進し、沿線地域の発展を図ることを目的としています。

■状況写真



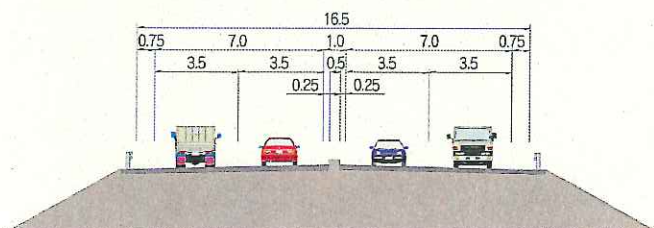
起点側より北方面(津山市方面)を望む

■事業箇所図



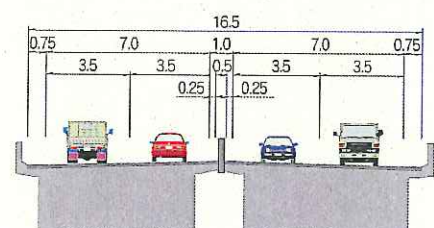
《標準断面図(土工部)》

(単位:m)



《標準断面図(橋梁部)》

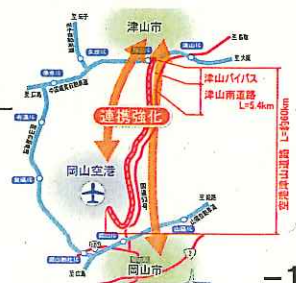
(単位:m)



期待される整備効果

交通渋滞の緩和

津山南道路を含む空港津山道路の整備により、津山周辺圏と岡山空港及び県南部地域との交流連携が期待されます。



一般国道53号 おおだ 大田防災



平成23年度 事業概要

トンネル及び舗装工事を推進します。

■事業概要

大田防災事業は、岡山市北区建部町大田から福渡における一般国道53号の防災事業です。

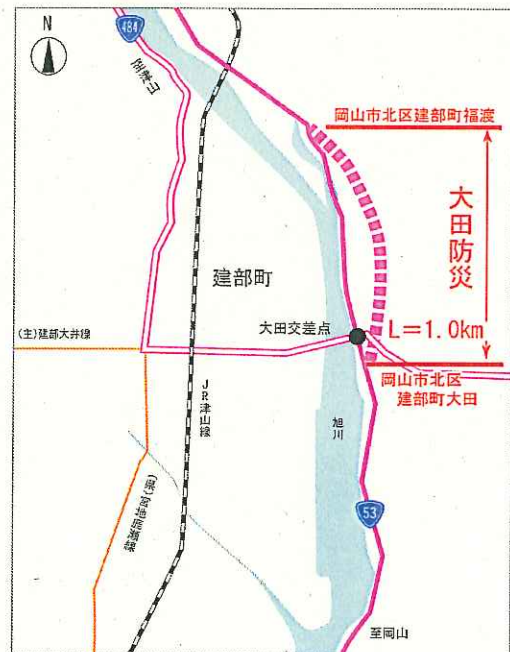
事業箇所は、一級河川旭川と急峻なおり面に挟まれたところであり、集中豪雨や地震時には小落石等が発生する恐れがあります。

現在、緊急的な措置としてロックネット等によるおり面対策を実施していますが、安全な通行を確保するための抜本的な対策としてトンネル整備を行っています。今後、平成24年度供用に向けて、引き続き事業を進めます。

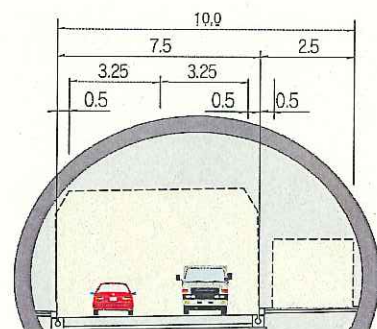
■状況写真



■事業箇所図



《標準断面図》



ロックネット等による緊急措置状況。
抜本的な対策が望まれる。

期待される整備効果

1. 安全性の確保

危険箇所を迂回することにより、道路の安全性・信頼性が確保されます。

2. 道路ネットワークの確保

危険箇所を迂回することにより、一般国道53号の道路ネットワークが確保されます。

一般国道180号 岡山環状南道路

おかやまかんじょうみなみ



平成23年度
事業概要

調査・設計及び用地買収を推進します。

■事業概要

岡山環状南道路は、地域高規格道路「岡山環状道路」の一部を構成する一般国道2号岡山バイパス（岡山市南区古新田）から一般国道30号（岡山市南区藤田）に至る延長2.9kmのバイパスです。

岡山市中心部では、特に朝夕の通勤時間帯に流出入する交通によって慢性的な渋滞が発生していることから、市内流出入交通の分散によって交通渋滞の緩和を図ることを目的としています。

■事業箇所図



■状況写真

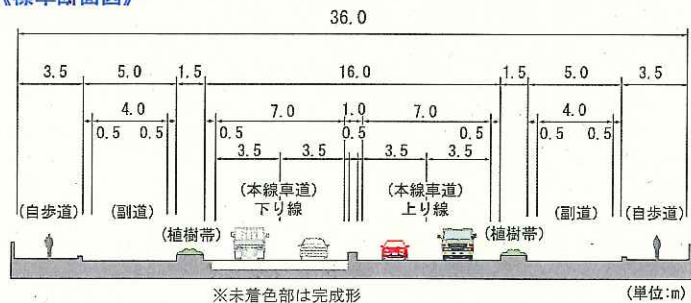


渋滞発生状況



国道30号笹ヶ瀬交差点より1.4km南側付近
（国道2号方面を望む）

《標準断面図》



期待される整備効果

1. 岡山市街地への交通分散化

都心部への流入交通を分散化することにより、岡山都市圏の渋滞緩和が図られると期待されます。

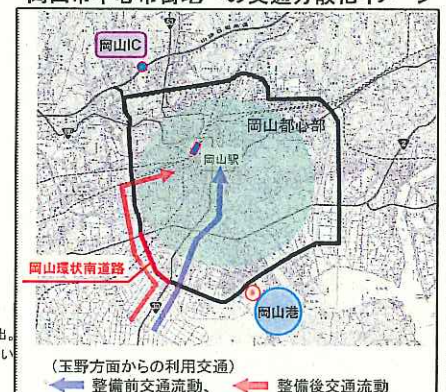
2. 所要時間の短縮

岡山環状南道路及び岡山西バイパスの整備により、岡山市都心部の交通渋滞の緩和や、岡山港から岡山ICにおける所要時間短縮が期待されます。



※H17交通センサス混雑時旅行速度により算出。
整備後の岡山西バイパス・環状南道路等については実査結果に基づき算出。

岡山市中心市街地への交通分散化イメージ



一般国道180号 岡山西バイパス

おかやまにし

平成23年度
事業概要

野殿西町地区の改良工事を推進します。



■事業概要

岡山西バイパスは、地域高規格道路「岡山環状道路」の一部を構成する一般国道2号岡山バイパス（岡山市南区古新田^{こしんでん}）から一般国道180号（岡山市北区榑津^{なかつ}）に至る5.6kmのバイパスです。

岡山市中心部では、特に朝夕の通勤時間帯に流出入する交通によって慢性的な渋滞が発生していることから、市内流出入交通の分散による交通渋滞の緩和を図ることを目的としています。

■状況写真



起点部（岡山市南区古新田）から北方面を望む
渋滞発生状況

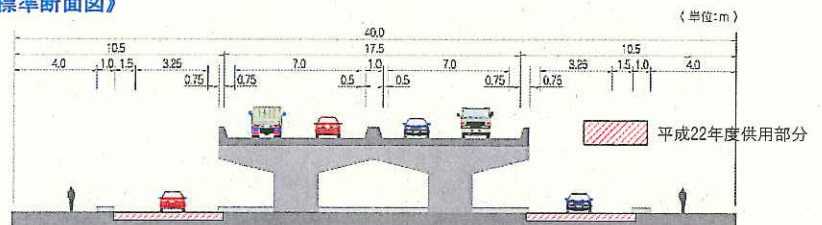


国道180号の渋滞状況（矢坂交差点付近）

■事業箇所図



《標準断面図》



期待される整備効果

1. 市内流入交通の分散

岡山西バイパスの整備により、都心部への流入交通が分散され、交通渋滞の緩和が図られると期待されます。

2. 地域経済活動の活性化支援

岡山西バイパスの整備により、沿線における業務施設等の立地が増え、地域経済活動の活性化を支援します。



一般国道180号 総社・一宮バイパス

そうじゃ いちのみや

平成23年度
事業概要

総社市総社～小寺間(L=1.9km)及び岡山市北区榑津～
今岡間(L=2.2km)の用地買収を推進します。



■事業概要

総社・一宮バイパスは、岡山市北区榑津から総社市井尻野に至る延長 15.9km のバイパスです。

朝夕の通勤時間帯に著しい渋滞が発生する一般国道 180 号の総社市及び岡山市西部の通過交通を受け持つことにより、交通渋滞の緩和やそれに伴う同地域の活力向上を図ることを目的としています

これまでに中国横断自動車道岡山総社 IC 関連区間を含む岡山市北区福崎から総社市総社までの 3.4km の区間を 4 車線供用しており、岡山市北区榑津から一宮山崎に至る延長 1.5km について、平成 27 年度供用に向けて、引き続き事業を進めます。

■事業箇所図

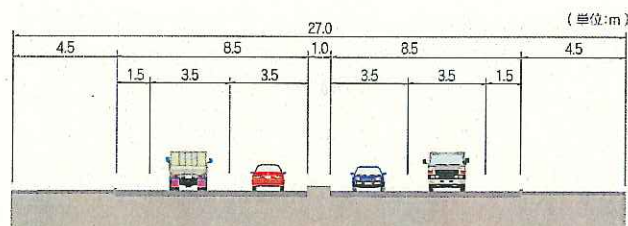


■状況写真

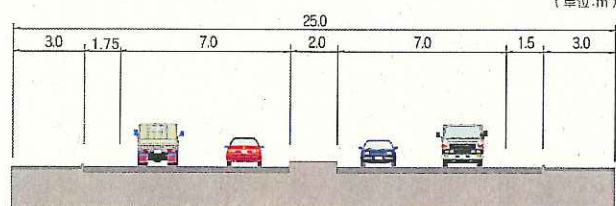


岡山市北区小山付近より西方面を望む

《標準断面図(土工部)総社市総社～総社市小寺》



《標準断面図(土工部)岡山市北区榑津～岡山市北区福崎》



期待される整備効果

医療連携の強化

総社・一宮バイパスの整備により、総社市から岡山市中心部への第二次救急医療施設へのアクセスが向上し、医療連携の強化が期待されます。



一般国道373号 志戸坂峠道路



平成23年度
事業概要

西粟倉地区の改良及び舗装工事を推進します。

■事業概要

志戸坂峠道路は、岡山県英田郡西粟倉村影石から鳥取県八頭郡智頭町市瀬に至る延長 18.4km の道路です。

一般国道 373 号は鳥取県境付近の線形不良区間によって安全な走行が困難となっているため、線形不良区間の解消を図ることを目的としています。

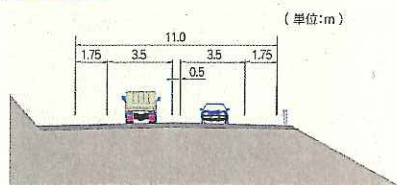
また、山陰と山陽・京阪神地域との連携強化を目的とした高規格道路として、志戸坂峠道路を含む中国横断自動車道姫路鳥取線の整備を進めています。

これまでに岡山県英田郡西粟倉村影石から鳥取県八頭郡智頭町市瀬までの 17.9km の区間を供用しています。岡山県内においては、西粟倉村影石地区の中国横断自動車道姫路鳥取線との接続部 0.5km 区間について、平成24年度供用に向けて、引き続き事業を進めます。

■状況写真



西粟倉村影石より北方面(鳥取県方面)を望む
《標準断面図(土工部)》



■事業箇所図



期待される整備効果

近畿・山陽～山陰間の時間短縮

志戸坂峠道路を含む姫路鳥取線の整備により、未開通時と比べ、神戸市から鳥取市へは約40分、岡山市から鳥取市へは約25分の所要時間が短縮されます。



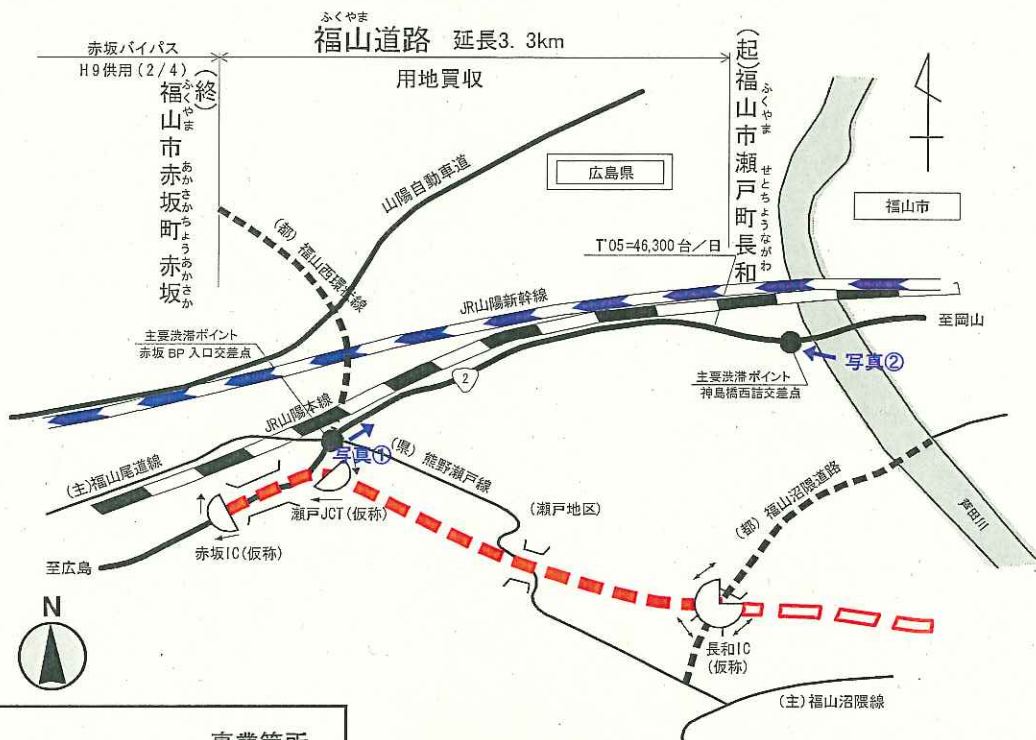
※所要時間はH17センサス道路通行時間により算出。ただし、鳥取自動車道の速度はV=70km/hとして算出。

一般国道2号 福山道路

事業推進

一般国道2号福山道路は、福山市内を中心とした交通混雑の緩和、交通安全の確保を目的とした、福山市瀬戸町長和から福山市赤坂町に至る延長3.3kmの道路です。

平成23年度は、引き続き用地買収を推進します。



現道状況



【写真①】赤坂バイパス入り口交差点付近の渋滞状況(東方面を望む)H22.10.01



【写真②】神島橋西詰交差点の渋滞状況(西方向を望む)H22.10.01

期待される整備効果

●所要時間の短縮

◆港湾と高速道路のアクセス強化により物流の効率化が期待され、需要港湾である福山港から吹く山西ICまでの所要時間が短縮。



【現 状】国道2号経由(ピーク時)

約60分

【整備後】福山道路経由

約40分

約20分短縮

福山港

※ 所要時間計測の経路は、物流事業者ヒアリング調査(H21年度)に基づき設定。
 ※ 福山港の位置は国際コンテナターミナルを代表地点として設定。
 ※ 現状の所要時間は、H17センサス路線は平日旅行速度、その他市道は30km/hを用いて算出。
 ※ 将来の所要時間は、現状の所要時間で用いた速度のほか、福山道路70km/h、福山沼隈道路60km/hを用いて算出。

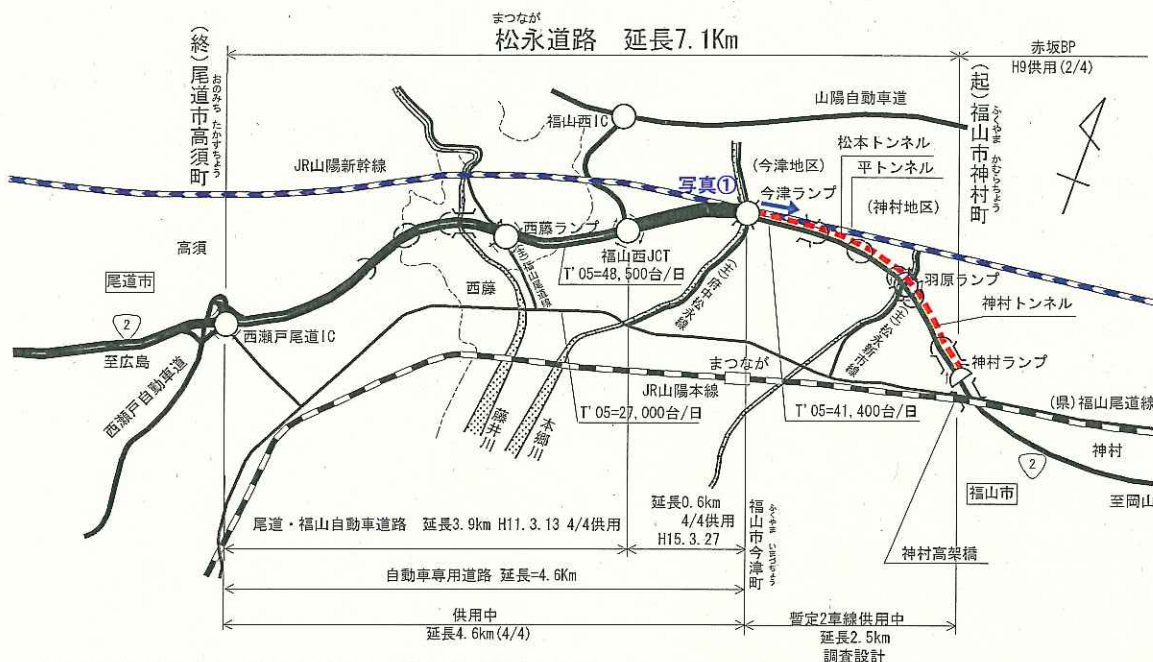
一般国道2号 松永道路

事業推進

松永道路は、福山市神村町から尾道市高須町に至る延長7.1kmの道路です。

平成2年度までに全線を暫定2車線で開通し、平成15年3月までには、福山市今津町から尾道市高須町の4.6km(自動車専用道路)を4車線で完成しています。

平成23年度は、調査設計を推進します。



写真① 今津ランプ付近の交通状況
福山市今津町より松本トンネルを望む

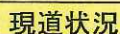
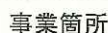
期待される整備効果

●所要時間の短縮

松永道路の整備により、広域交通拠点である広島空港、二次医療機関である福山医療センターまでの所要時間が短縮。



平成23年度は、調査設計、用地買収を推進します。

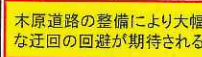


現道狀況

写真② 一般国道2号(現道)の交通状況

●所要時間の短縮

◆木原道路の整備により、代替道路機能が確保され、安定した通行が確保されます。

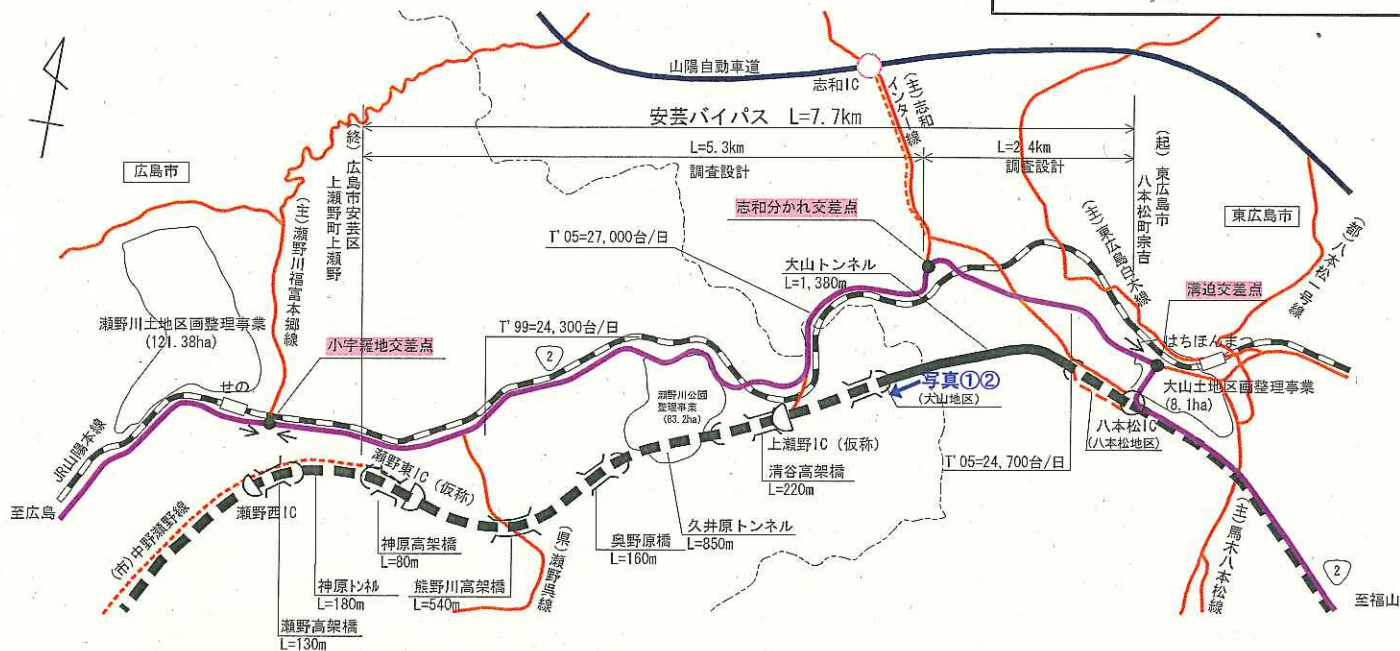


一般国道2号 安芸バイパス

事業推進

安芸バイパスは、東広島市と広島市内の交通混雑の緩和及び交通安全の確保を目的とした、東広島市八本松町宗吉から広島市安芸区上瀬野町上瀬野に至る延長7.7kmの道路です。

平成23年度は、調査・設計を推進します。



【写真①】大山高架橋付近から西方向を望む(H23.3撮影)



【写真②】大山地区から西方向を望む(H23.3撮影)

期待される整備効果

●所要時間の短縮

安芸バイパス等の整備により国道2号の交通混雑が緩和され、所要時間が短縮します。



※現況所要時間はH17センサス混雑時旅行速度、将来は安芸バイパス・東広島バイパスが全線整備された条件で、規制速度等により算定[安芸バイパス・東広島バイパスの設定速度はV=70km/h]

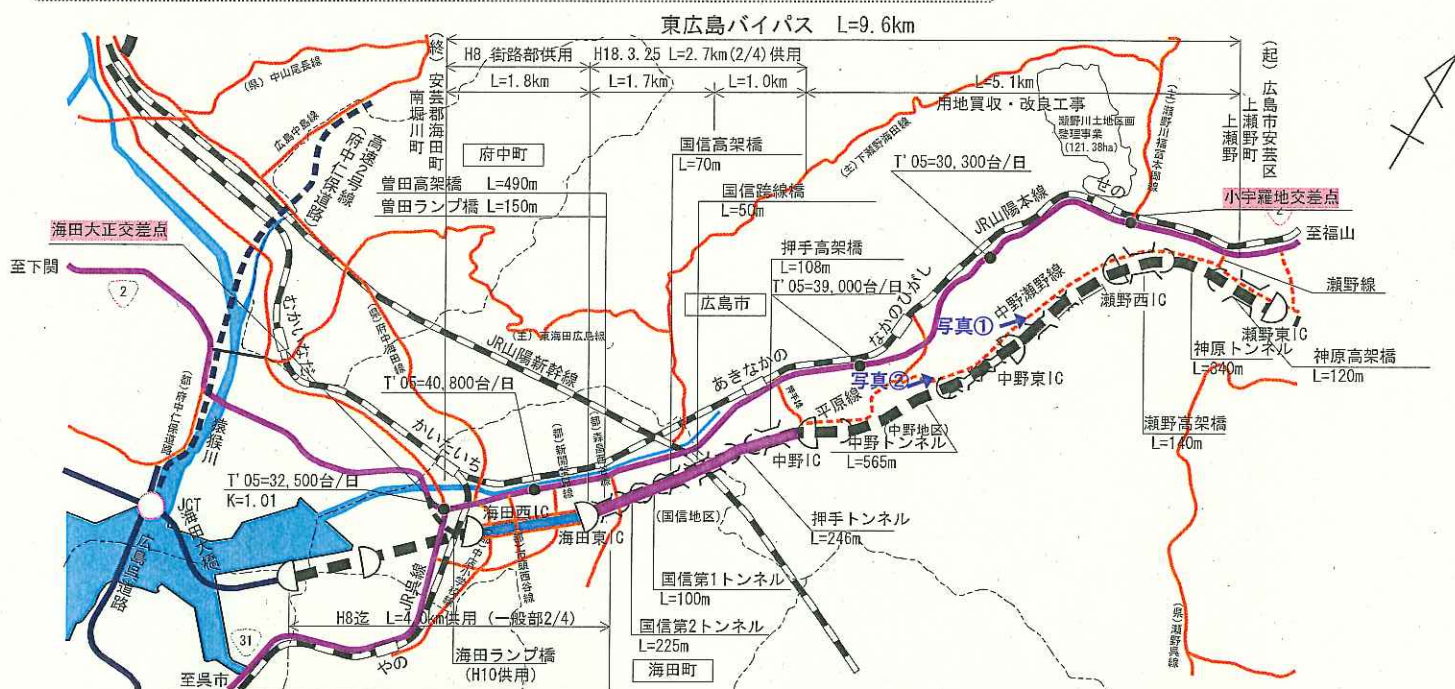
一般国道2号 東広島バイパス

事業推進

東広島バイパスは、交通混雑の緩和及び交通安全の確保を目的とした、広島市安芸区上瀬野町上瀬野から安芸郡海田町南堀川町に至る延長9.6kmの道路です。

平成17年度には、中野IC～海田東ICまでの2.7km区間を供用しています。

平成23年度は、用地買収、改良工事を推進し、平成25年度供用(瀬野西IC(仮称)～中野IC)を目指します。



【写真①】大藤地区から東方向を望む (H23.2撮影)



【写真②】清光寺川橋付近から東方向を望む (H23.2撮影)

期待される整備効果

●所要時間の短縮

東広島バイパス等の整備により国道2号の交通混雑が緩和され、所要時間が短縮します。



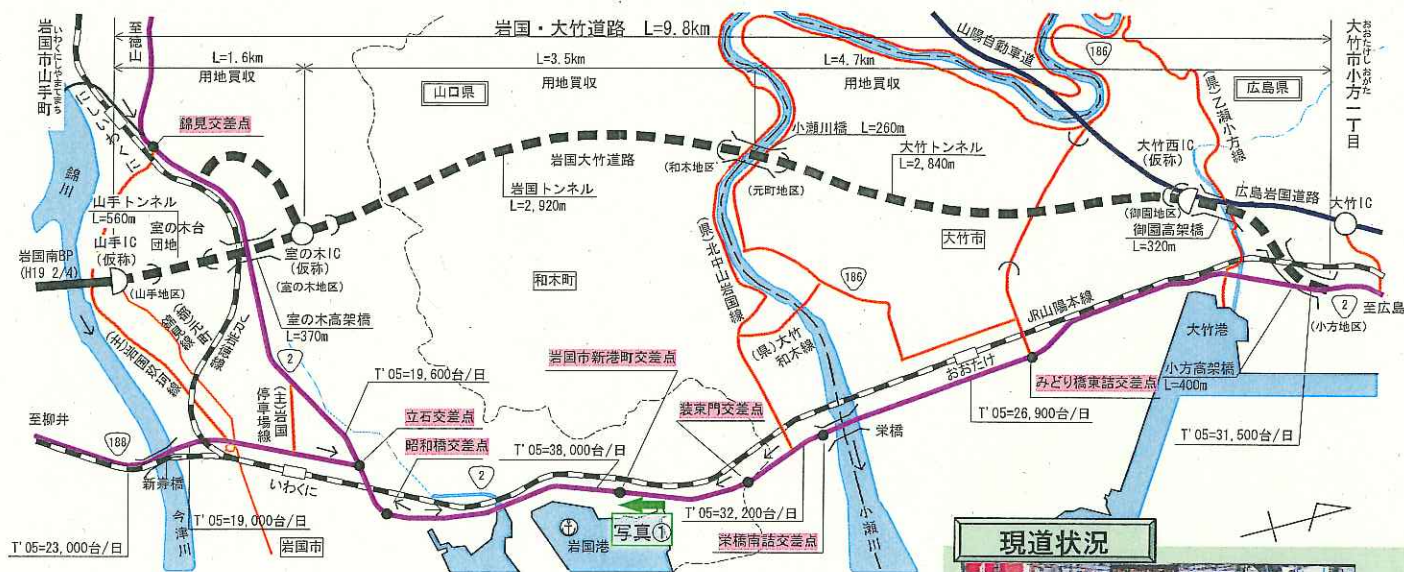
※現況所要時間はH17センサ混雑時旅行速度、将来は安芸バイパス・東広島バイパスが全線整備された条件で、規制速度等により算定[安芸バイパス・東広島バイパスの設定速度はV=70km/h]

一般国道2号 岩国・大竹道路

事業推進

一般国道2号岩国・大竹道路は、交通混雑の緩和及び交通安全の確保を目的とした、広島県大竹市小方1丁目から山口県岩国市山手町に至る、延長9.8kmの道路です。

平成23年度は引き続き用地買収を推進します。



※未供用区間のIC名称及び構造物名称は全て仮称

現道状況



写真① 岩国市新港町交差点付近の渋滞状況

期待される整備効果

効果1)『交通混雑の緩和』

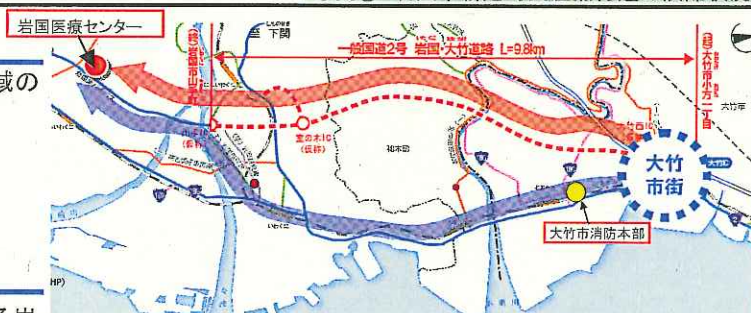
岩国・大竹道路の整備により、アクセス性が向上し、地域の利便性向上や産業振興が期待される。

効果2)『交通事故の減少』

国道2号・188号現道部の交通量が自動車専用道である岩国・大竹道路に転換し、現道区間の死傷事故件数の減少が期待されます。

効果3)『所要時間の短縮』

大竹市街から第3次医療施設(岩国医療センター)への搬送時間が約4分短縮され、救命率の向上が期待される。



▼期待される道路の役割(効果)

第3次医療施設へのアクセス時間短縮



一般国道2号 栄橋

事業推進

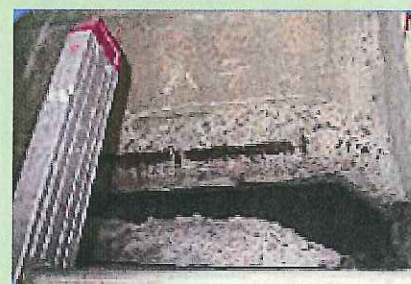
一般国道2号栄橋は、広島県大竹市南栄2丁目～山口県玖珂郡和木町和木五丁目に位置する一級河川小瀬川に架かる橋であり、昭和17年3月に竣工以来、60余年の間、数多くの人や物資の移動を担ってきました。

橋の健全性・安全性の観点から現状調査を実施したところ、上部工は、コンクリートの剥離・ひび割れ及び鉄筋の露出が生じるなど劣化が進行し、下部工は大規模地震の際には安定度が不足することが判明したため、架け替えを行う予定です。

平成23年度は、迂回路橋への一般交通の切替えと既設橋撤去に着手します。



状況写真



▲写真 鉄筋の露出状況

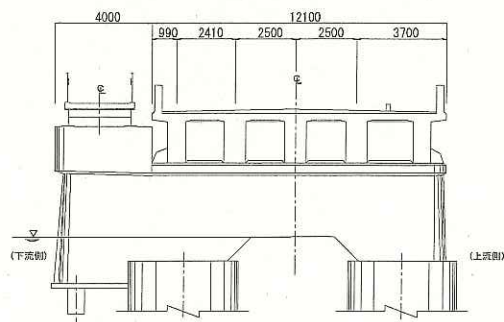
工事進捗写真



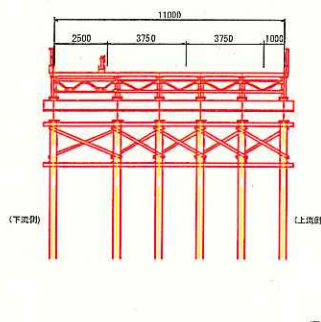
写真① H23.3撮影



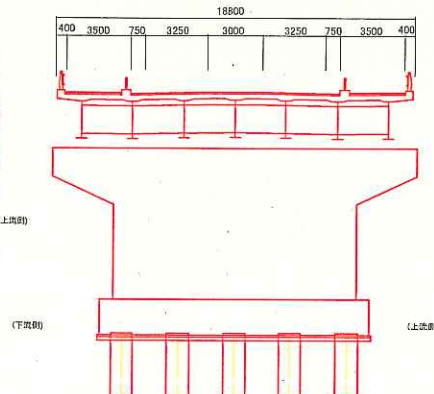
既設橋



迂回路橋



新設橋



期待される整備効果

- 大規模地震等災害に対する安全性・信頼性の確保
- 大竹市～岩国市の幹線道路の快適性の向上
- 歩道幅員増による安全で快適な歩行空間の確保

一般国道54号 可部バイパス

事業推進

可部バイパスは、広島、三次、松江間を結ぶ陰陽連絡道路である国道54号の交通渋滞を緩和し、幹線道路網を体系的に整備するために計画された延長9.7kmの道路です。

平成18年度までに安佐北区可部南一丁目から安佐北区三入二丁目までの延長6.0kmが供用しています。

平成23年度は、用地買収、橋梁工事を推進し、平成25年度の供用(安佐北区三入二丁目～安佐北区大林三丁目)を目指します。



可部バイパス L=9.7km



期待される整備効果

●所要時間の短縮

バイパス区間の利用によりピーク時には約15分の時間短縮が見込まれます。



工事進捗状況



【写真③】専隆寺川橋付近から西方向を望む(H23.3撮影)

※可部バイパスは60km/h、国道54号は平成17年道路交通センサス(可部バイパス全線開通前)の混雑時旅行速度を用いて算出

一般国道185号 休山改良

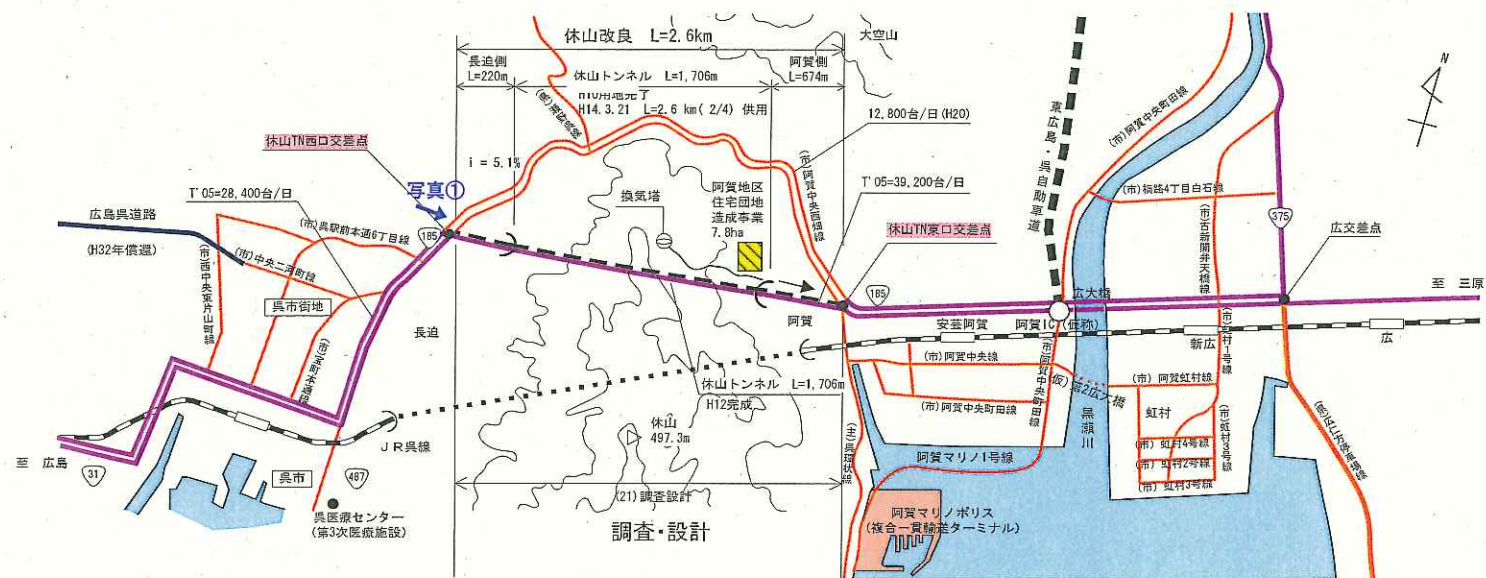
やすみやまかいりょう

事業推進

一般国道185号休山改良は、呉市の東西を連絡し、交通渋滞の緩和や交通安全の確保を目的とした、呉市本通6丁目から呉市阿賀中央6丁目に至る延長2.6kmの道路です。

これまでに、延長2.6km(2/4車線、内トンネル延長1.7km)を供用しています。

平成23年度は、引き続き調査・設計を推進します。



●:主要渋滞ポイント

期待される整備効果

●休山トンネル周辺の渋滞緩和

休山トンネル周辺では交通長が増加傾向にあり、朝・夕の通勤時に渋滞が発生。

休山改良の完成(4車線化)整備により渋滞が緩和



西側坑口付近の車線減少状況(H21年9月撮影)



休山トンネルより三原市側を望む(H21年9月撮影)

現道状況



呉市街上空から休山トンネル西側坑口を望む(H21年1月撮影)

一般国道185号 安芸津バイパス

一般国道185号安芸津バイパスは、東広島市安芸津町内の交通混雑の緩和及び交通安全の確保を目的とした、東広島市安芸津町風早から竹原市吉名町八代谷に至る延長6.1kmの道路です。

平成23年度は、引き続き調査・設計を推進します。

事業推進



期待される整備効果

●隘路区間や線形不良箇所が解消

並行現道には道路幅員が狭く、平面線形(3箇所)や縦断勾配(4箇所)のきつい区間が存在するため、大型車の離合等、交通のネックになっている。

安芸津バイパス整備により、これらの不良箇所が解消される。



●国際標準コンテナ車通行支障区間が解消

国道185号は「国際物流基幹ネットワーク※」に指定されているにもかかわらず、国際標準コンテナ車通行支障区間である「木谷トンネル」が存在しており、物流の効率化に支障をきたしている。

安芸津バイパス整備により、国際標準コンテナ車通行支障区間が解消される。



※総合物流施策大綱（2005-2009）等を踏まえ、中国地方における効率的な物流ネットワークを構築する観点から、既存の幹線道路網の中から選択された、国際標準コンテナ車の通行を可能とすべき約2千9百kmの幹線道路ネットワーク。

一般国道2号 周南立体

事業推進

一般国道2号周南立体は、周南市内の交通渋滞の緩和及び、交通安全の確保、地域経済の発展を目的とした、一般国道2号の周南市孝田町から周南市徳山に至る延長3.5kmの交差点の立体化及び交差点改良事業です。

平成23年度は調査・設計を推進します。



現道状況



【三田川交差点付近（下り車線／左）朝ピーク】



【花昌交差点付近（上り車線／右）夕ピーク】

期待される整備効果

効果1)『交通渋滞の緩和』

周南立体の整備により、三田川交差点、城ヶ丘交差点などの渋滞が大幅に改善されます。国道2号徳山東ICから化学工場群までの所要時間がピーク時では約9分短縮されます。

効果2)『交通事故の減少』

三田川交差点の立体化や隣接交差点の改良により死傷事故件数の減少が期待されます。

●期待される道路の役割（効果）



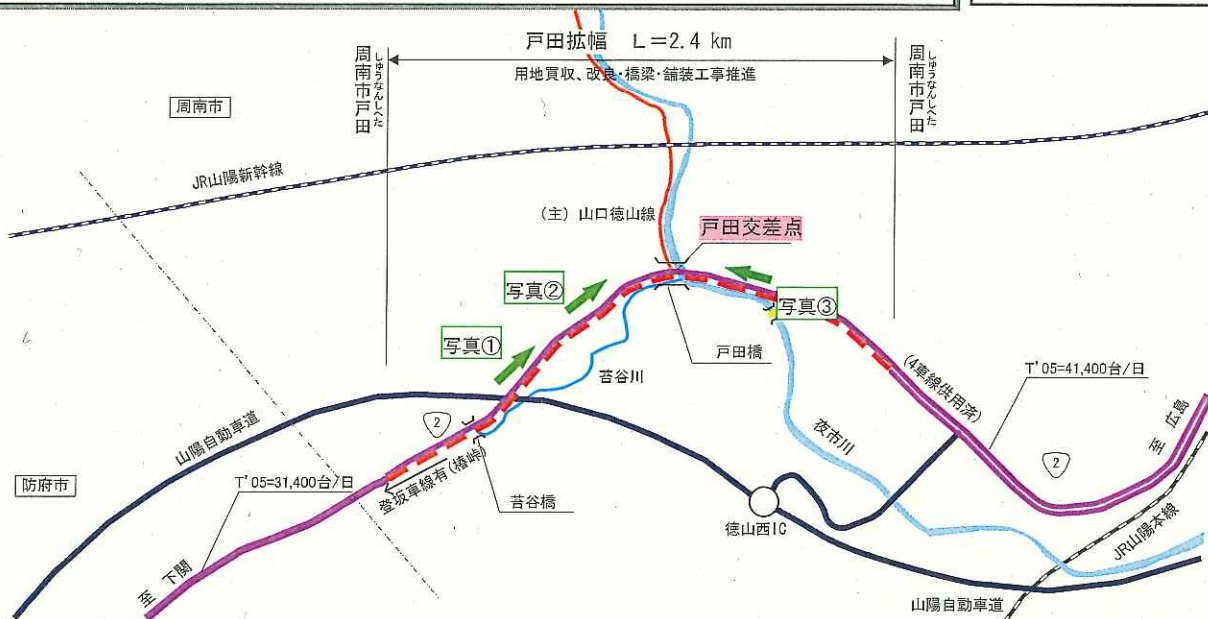
※現況の所要時間は、H17道路交通センサス平日混雑時旅行速度で算出
※整備後の所要時間は、立体化区間をV=50km/hで算出
その他事業区間をV=35km/hで算出

一般国道2号 戸田拡幅

完成予定

一般国道2号戸田拡幅は、交通渋滞の緩和、交通安全の確保、交通基盤の確保を目的とした周南市戸田地区における延長2.4kmの4車線への道路拡幅事業です。

平成23年度は、戸田地区における用地買収及び、改良・橋梁・舗装工事を推進し、供用を目指します。



現道状況

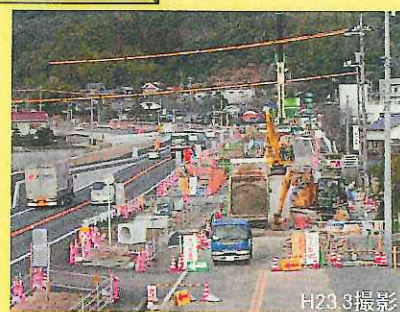


▲写真① 戸田山付近線形不良状況



▲写真② 朝ピーク時の戸田交差点 (上り方向の渋滞状況)

工事進捗状況



写真③ 改良工事(上り線)の状況

期待される整備効果

効果1)『交通渋滞の緩和』

戸田拡幅の整備により、主要渋滞ポイントの戸田交差点の交通渋滞が解消されます。

効果2)『利便性の向上』

交通の定時性や確実性を確保し、通勤や通学、買い物などの利便性の向上します。

期待される効果 (効果)

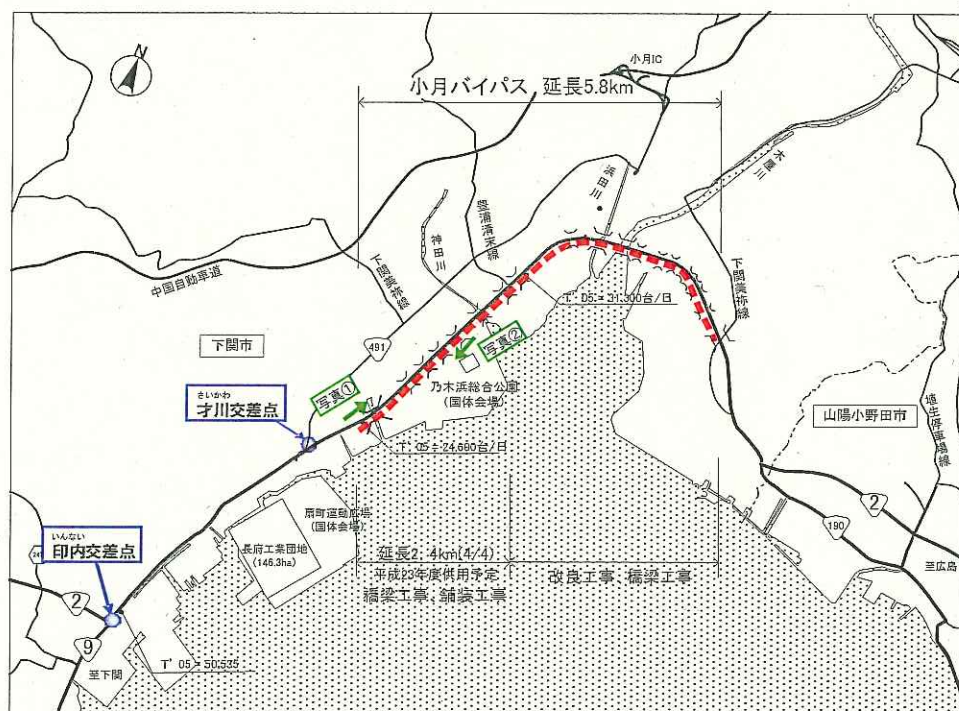
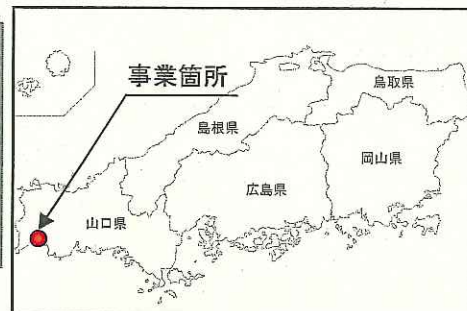


※防府市役所～周南市役所間の所要時間
※現況所要時間はH17道路交通センサス平日混雑時旅行速度にH18.7渋滞長調査結果の通過時間を反映して算出
整備後所要時間は戸田拡幅V=60km/hとして算出

一般国道2号 小月バイパス

部分完成

一般国道2号小月バイパスは、山口県下関市地内の延長8.5kmのバイパス、交通渋滞が深刻になってきたことから、4車線化するものです。
平成23年度は、下関市清末東町から亀浜町の延長2.4kmについて、橋梁、舗装工事を推進し、完成供用(4/4車線)を目指します。



現道状況



写真① 渋滞状況

工事進捗写真



写真② H23.3撮影

期待される整備効果

効果1)『交通渋滞の緩和』

小月バイパス等の整備により、小月バイパス、国道491号における交通渋滞の緩和、走行速度の向上が期待されます。

効果2)『所要時間の短縮』

小月バイパス等の整備により、小月町付近から第3次医療施設(関門医療センター)への搬送時間の短縮が期待されます。また、中国自動車道(小月IC)や平成23年開催される国民体育大会会場へのアクセス向上が期待されます。



一般国道188号 新寿橋

完成予定

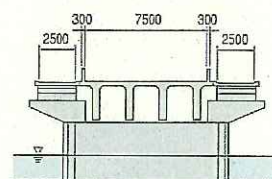
一般国道188号新寿橋は、岩国市の今津川に架かる新寿橋の老朽化に伴い、新しい橋に架け替える事業です。新寿橋は昭和28年に竣工して以来、主要幹線道路である一般国道188号に架かる橋として、数多くの人や物資の移動を担ってきました。

安全対策の観点から老朽・耐震点検を実施したところ、上部工は主桁及び床版等のコンクリートの脱落及び鉄筋の露出等が生じ、下部工は橋脚部の洗掘が進行していることが判明したため、架け替えを行うものです。

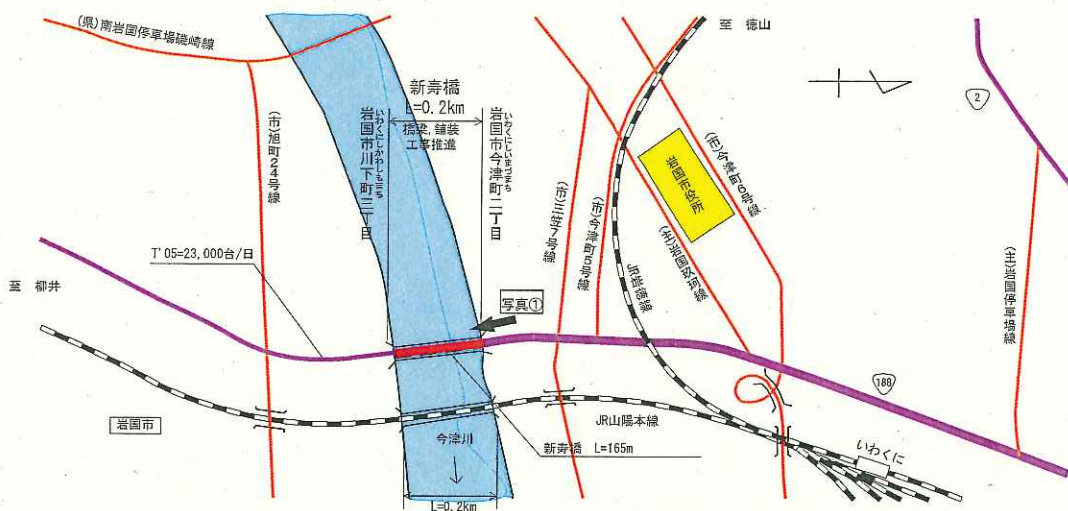
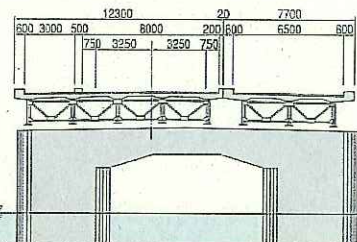
平成23年度は、橋梁、舗装工事を推進し供用を目指します。



橋梁断面図



橋梁断面図



状況写真



拡大



工事進捗状況



写真①

H23.2撮影

期待される整備効果

- 大規模地震等災害に対する安全性・信頼性の確保
- 岩国市内の幹線道路の快適性の確保

一般国道188号 柳井バイパス

事業推進

一般国道188号柳井バイパスは、交通混雑の緩和及び交通安全の確保を目的とした、柳井市柳井から柳井市南町3丁目に至る延長3.5kmの道路です。これまでに、柳井市柳井から柳井市南町3丁目のバイパス区間延長2.5km(2/4車線)区間が供用しています。

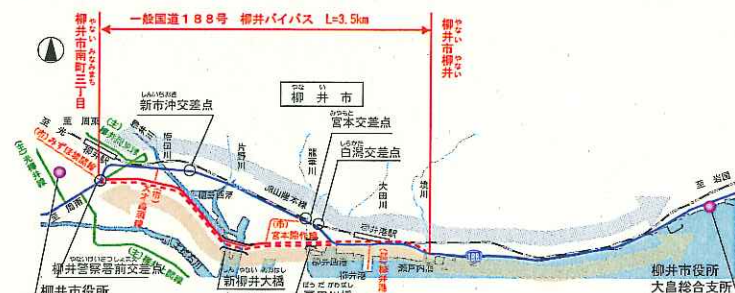
平成23年度は、用地買収を推進し、平成26年度の供用を目指します。



期待される整備効果

効果1)『移動にかかる所要時間が大幅に短縮』

平成17年に合併した旧大島町(現大島総合支所)～柳井市中心部(柳井市役所)までの所要時間がピーク時で約4分短縮されます。



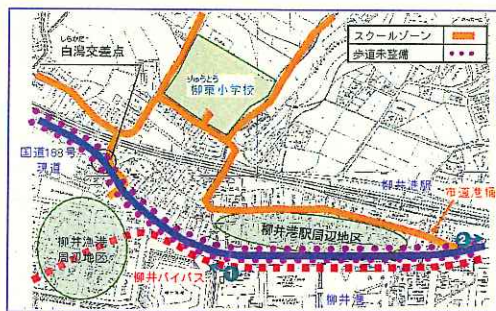
■柳井市役所～大島総合支所間の所要時間

整備前	約15分
将来	約11分
	約4分短縮

※既供用区間はH17センサ混雑時旅行速度、未供用区間は設計速度(60km/h)を用いて算出
※資料:国土交通省 山口河川国道事務所

効果2)『交通安全の確保』

現道拡幅区間において、歩道未設置区間の解消を行います。



■国道188号現道区間の歩道未設置箇所の状況

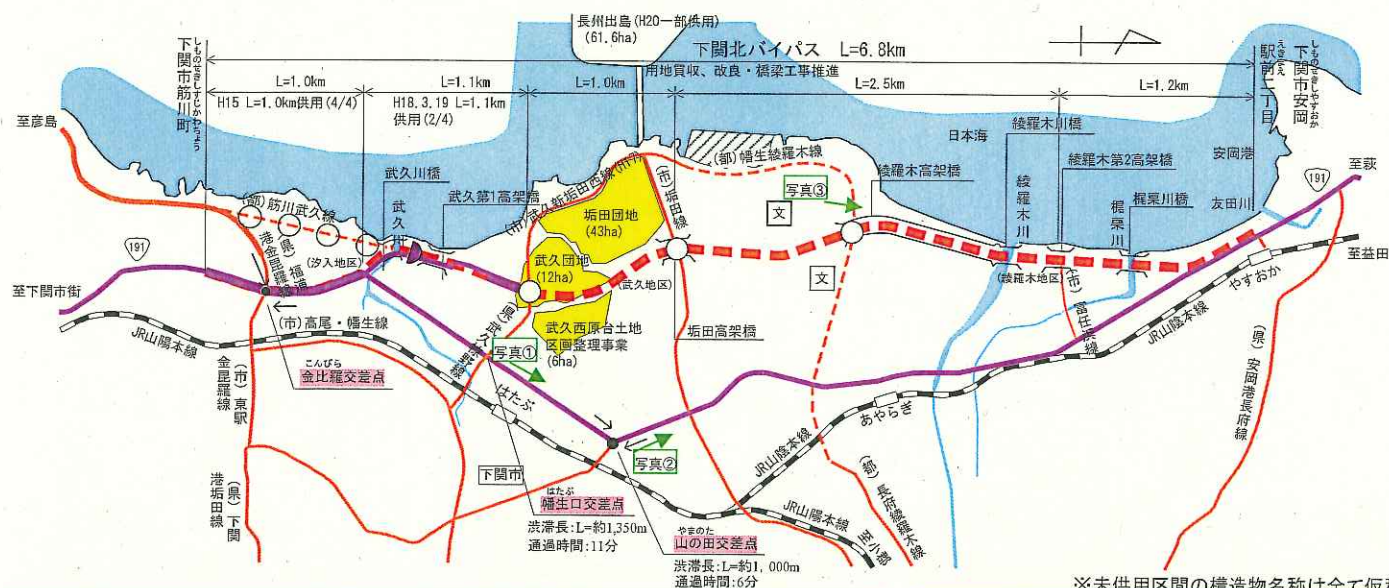
一般国道191号 下関北バイパス

事業推進

一般国道191号下関北バイパスは、一般国道191号の交通混雑の緩和及び交通安全の確保を目的とした、下関市筋川町から下関市安岡駅前二丁目に至る延長6.8kmの道路です。

平成17年度までに、起点部(下関市筋川町)から(県)武久棕野線までの2.1kmが供用(2/4車線)しています。

平成23年度は、用地買収及び改良、橋梁工事を推進し、平成26年度の供用を目指します。



※未供用区間の構造物名称は全て仮称

現道状況



写真①交通混雑状況(幡生口交差点)

現道状況



写真②交通混雑状況(山の田交差点)

工事進捗状況



写真③工事施工状況(綾羅木地区)H23.3

期待される整備効果

効果)『交通渋滞の緩和』

下関北バイパスの整備により、国道191号における交通渋滞の緩和、走向速度の向上が期待されます。

効果)『所要時間の短縮』

下関北バイパスの整備により、主要交通拠点へのアクセスが向上し、中国縦貫自動車道下関ICから川棚温泉までの所要時間がピーク時で約10分短縮されます。



現況：H17道路交通センサス休日混雑時旅行速度、H21渋滞長調査結果の通過時間
整備後：H17道路交通センサス休日混雑時旅行速度、下関北バイパスは60km/h、(県)武久棕野線は50km/h

ながと たわらやま 一般国道491号 長門・俵山道路

事業推進

ながと たわらやま
一般国道491号長門・俵山道路は、平行する一般国道491号や
しものせきながと
(主)下関長門線等の要防災対策箇所、事前通行規制区間の解消、
ながとし たわらやま こばら
俵山地区の災害時の孤立回避を目的とした、長門市俵山小原から
ながと ふかわ ゆもと
長門市深川湯本に至る延長5.5kmの自動車専用道路です。

平成23年度は調査・設計を推進します。

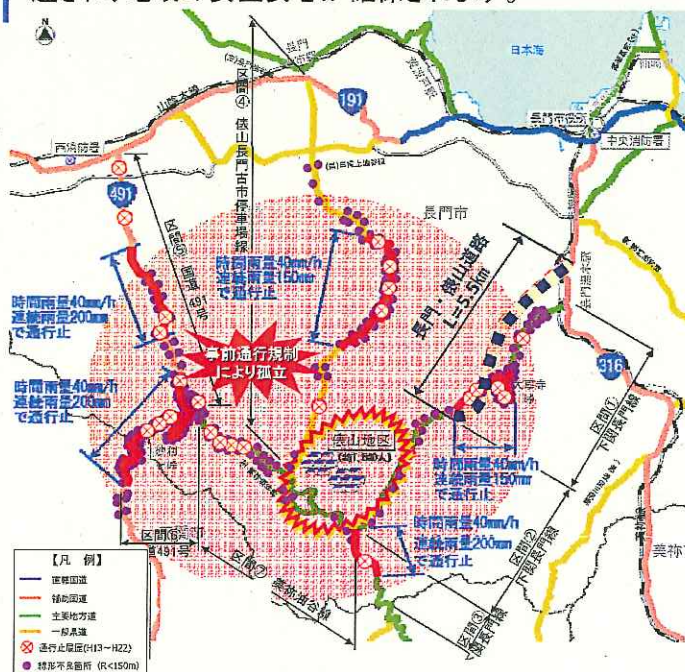


写真②現道((主)下関長門線)の災害状況

期待される整備効果

効果1)『災害時の孤立を解消』

俵山地区に通ずる全ての道路に事前通行規制区間があります。長門俵山道路の整備により、俵山地区の孤立が回避され、地域の安全安心が確保されます。



効果2) 救急医療の支援

(主)下関長門線の大寧寺峠付近などのカーブが多い区間を回避することにより、搬送時間が短縮され、救命率の向上が期待されます。

